dynabook ガイド
（取扱説明書）

dynabook　活用応援サイト

東芝プレイス

東芝プレイスは、dynabookをお使いのみなさまのための活用応援サイトです。

dynabookを幅広く活用していただくために、インターネットを使ってできるさまざまなことを用途別に分類した各種プレイス（場所）をご用意しています。

サポートプレイス
dynabookを使用していて困ったときに役立つ情報や、さまざまなサポートサービスを提供しています。

アクセサリープレイス
dynabookのオプション製品や使いかたが広がる周辺機器などを紹介しています。

アッププレイス
ダウンロードしてすぐに使える、便利なアプリケーションソフトを紹介しています。

ブックプレイス
話題の新刊やコミック、雑誌などの電子書籍を紹介しています。

ビデオプレイス
話題の映画やドラマ、アニメなどのビデオを紹介しています。

ゲームプレイス
気軽に楽しめるゲームを紹介しています。

ミュージックプレイス
高音質で楽しめるさまざまなジャンルの音楽を紹介しています。

ショッピングプレイス
ファッション、美容、グルメ、旅行など、生活に役立つサイトを紹介しています。

東芝プレイスはこちら
http://toshibaplaces.jp

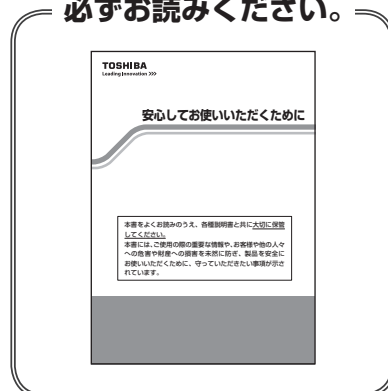
もくじ

『パソコンで見るマニュアル』もあわせてご覧ください。
参照 「1章 7-2 パソコンの画面で見るマニュアル」

付録 137

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠危 険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	参照先を示します。 ● 本書内の参照の場合…「　」 ● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『　』

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows 8です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windowsまたは Windows 8

Windows 8またはWindows 8 Proを示します。

8 Proモデル

Windows 8 Proを搭載しているモデルを示します。

MS-IME

Microsoft IMEを示します。

パソコンで見るマニュアル

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアル『パソコンで見るマニュアル』を示します。
スタート画面の［デスクトップ］をクリックし、［パソコンで見るマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリックして起動します。

SSD

本製品には、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブが搭載されています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。
SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。
なお、本書において「ハードディスク」または「ハードディスクドライブ」と記載されている場合は、SSDを示します（「外付けハードディスクドライブ」は除く）。

タッチ操作対応モデル

画面にタッチして操作が行えるモデルを示します。

Office搭載モデル

Microsoft Office Personal 2013またはMicrosoft Office Home and Business 2013をプレインストールしているモデルを示します。

Bluetooth機能搭載モデル

Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のSSDや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
  画面右上の［表示方法］が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。

（表示例）

- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
  画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows及びWindowsロゴ、Skype及びSkypeロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。
  その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Microsoft® PowerPoint 2013 楽しもう フォトウィザードは、Microsoft .NET Frameworkを使用して構築されています。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Intel、インテル、インテルCoreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- ATOKは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ATOKは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- SDロゴは商標です。（ ）
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの登録商標または商標です。
- Fast Ethernet、Ethernetは富士ゼロックス株式会社の商標または登録商標です。
- おたすけナビは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- Corel、Corelロゴ、Corel VideoStudioは、Corel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
- McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターおよびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 「PC引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。
- デジブックは株式会社ルクレの登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- LoiLoScopeは、株式会社LoiLoの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社LoiLo及び各権利者に帰属します。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- “sMedio”及び”sMedio TrueLink+”は株式会社sMedioの商標及び登録商標です。
- CyberLink及びMediaShowはCyberLink Corporationの商標または登録商標です。
- 「music.jp」は株式会社エムティーアイの登録商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。
これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

本製品には64ビットプロセッサおよび64ビット版OSが搭載されており、32ビット版のデバイスドライバーやアプリケーションが正しく動作しない場合があります。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

①スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする
②［すべてのアプリ］をクリックする
③［はじめに］の［ リリース情報］をクリックする

8 お願い

- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。HDDパスワード（本製品の場合、SSDに対してパスワードが設定されています）を忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有料です。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 本製品のセキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
  ウイルスチェックが全く行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

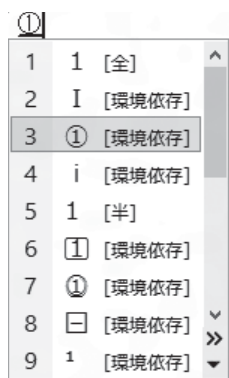
本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 お客様登録について『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 8 お客様登録の手続き』

9 ［ユーザーアカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。
パスワードの入力を求められた場合は､管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

10 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存」などと表示されるものです。

（表示例）

ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「?」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
また、アプリケーション上でファイルの編集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。
このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。
CD／DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

11 操作の読み替えについて

＊タッチ操作対応モデルのみ

本書では、代表的な操作例として、タッチパッドやマウスを使った操作（「クリック」／「ダブルクリック」など）手順を記載していますが、画面にタッチして操作することもできます。
タッチ操作を行う場合は、タッチパッドやマウスの操作の部分を、次のように読み替えてください。

● クリック → タップ
● ダブルクリック → ダブルタップ
● 右クリック → 長押し（ロングタップ）
　アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。

※一部例外があります。

参照 操作の詳細について「1章 3 ポインターを動かす／文字キーを使う」

12 「Office」のライセンス認証について

＊Office搭載モデルのみ

「Office」を使用するには、Windowsのセットアップ後にライセンス認証が必要です。

①スタート画面の［Microsoft Office］をクリックする
　以降は、画面の指示に従ってください。
　ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。
　プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

1章

パソコンの準備

この章では、パソコンの置き場所、Windowsのセットアップと基本操作、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。
また、本製品でご用意しているマニュアルについて説明しています。

1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認

『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝PCあんしんサポート『東芝PCサポートのご案内』

■型番と製造番号を確認

パソコン本体の裏面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 記載位置について「本章 2 - 3 裏面図」

2 忘れずに行ってください

■はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。

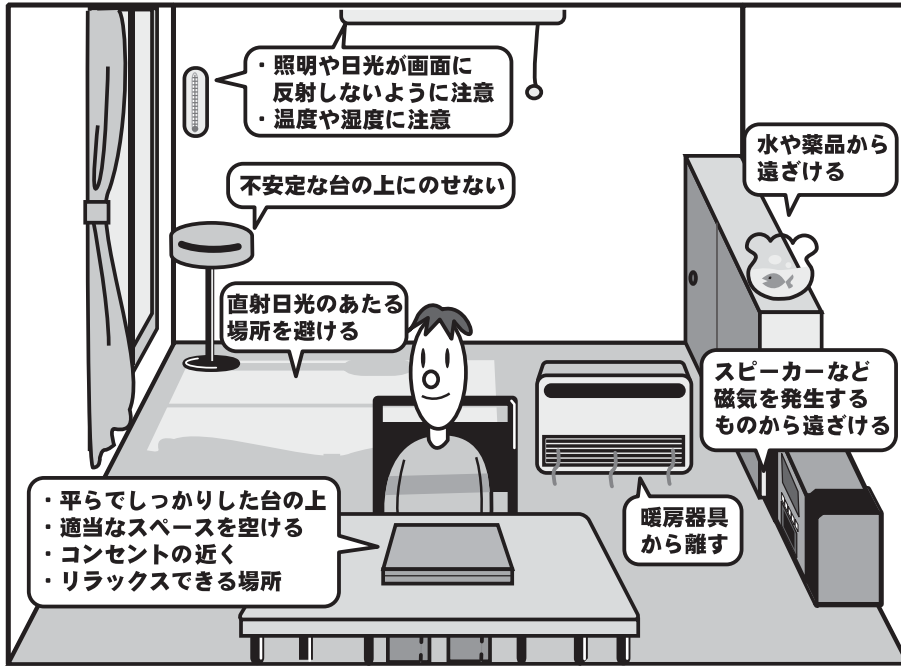
保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

■海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細は、『東芝PCサポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

3 最適な場所で使う

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。

次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

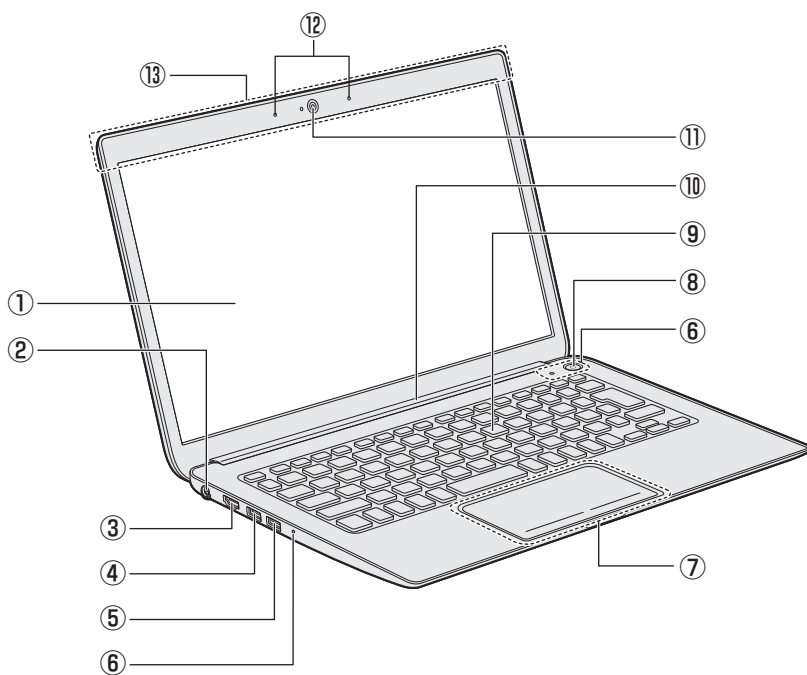
- 安定した場所に置きましょう。
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

2 各部の名称
ー外観図ー

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれの詳細は、各参照ページや『パソコンで見るマニュアル』を確認してください。

お願い **外観図について**

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『dynabook＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

1 前面図

① **ディスプレイ（画面）**
タッチ操作対応モデルの場合、画面にタッチして操作できます。

② **電源コネクタ（→P.28）**

③ **HDMI HDMI出力端子**
HDMIケーブルを接続して、HDMI入力対応機器（テレビ、プロジェクターなど）にパソコンの映像を表示します。

④ **USBコネクタ＊1**
USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。

⑤ **USBコネクタ**
USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。

⑥ **システムインジケーター（→P.17）**

⑦ **タッチパッド、左ボタン、右ボタン（→P.20）**

⑧ **電源スイッチ**

⑨ **キーボード**

⑩ **ヒンジ**

⑪ **Webカメラ**

⑫ **マイク**
2つのマイクでノイズキャンセルして、モノラルとして使用します。

⑬ この部分に無線LANアンテナ、Bluetoothアンテナ＊2が内蔵されています。

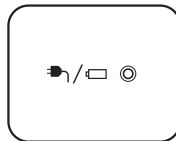
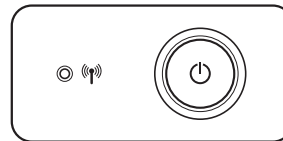
＊1 USBの常時給電の設定を行うと、パソコン本体の電源が入っていない状態でも、USBコネクタから外部機器に電源を供給することができます。
USBの高速充電の設定を行うと、USBコネクタから外部機器に短時間での充電を可能にします。

参照 『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 7 - 1 USBの常時給電と高速充電』

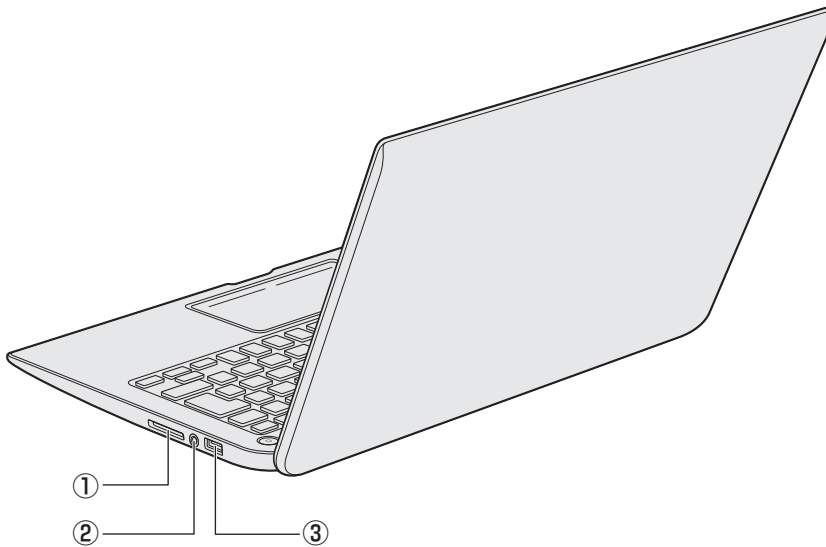
＊2 Bluetooth機能搭載モデルのみ

1 システムインジケーター

システムインジケーターは、点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。

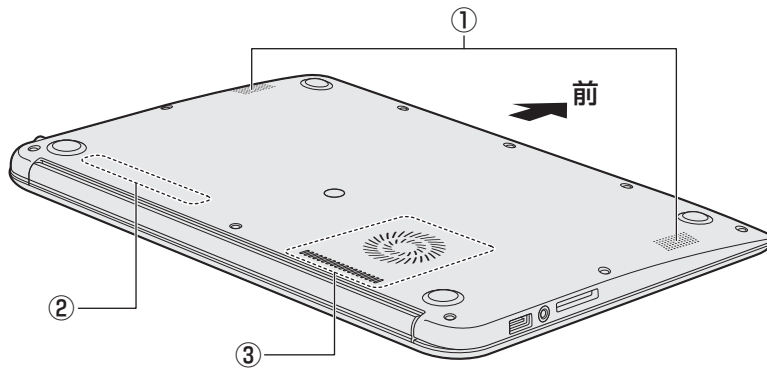
＜左側面＞

＜キーボード右上＞

	DC IN/Battery LED	電源コードとACアダプター接続の状態やバッテリーの状態 参照 P.52、76
	ワイヤレスコミュニケーションLED	無線通信機能（無線LAN機能／Bluetooth機能＊1）の状態 参照 P.62
	Power LED	電源の状態 参照 P.52

＊1 Bluetooth機能搭載モデルのみ

2 背面図

① SD ブリッジメディアスロット
SDメモリカード、マルチメディアカードなどをセットします。

② マイク入力端子／ヘッドホン出力端子／オーディオ入力端子
マイクロホン、ヘッドセット、オーディオ機器、またはヘッドホンを接続します。

③ USBコネクタ
USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。

3 裏面図

①スピーカー

②型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

③通風孔

パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
ふさがないでください。

⚠危険

- **本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する**
  寿命などで交換する場合は、東芝PCあんしんサポートに依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

■ 本製品のメモリ、バッテリーについて

- 本製品はメモリの増設が行えません。
- 本製品にはバッテリーパックが内蔵されていますが、お客様ご自身で取りはずしや交換をしないでください。

■ 本製品の裏面について

- 通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
  通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることでパソコン内部に熱がこもるのを防いでいます。
  通風孔をふさがないでください。
  通風孔の表面上のほこりは、やわらかい布でふき取ってください。通風孔の内部にほこりが入ったときは、保守サービスに点検を依頼してください。この場合、有料となります。
- 本製品の裏面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows 8」というMicrosoft®のラベルが貼ってあります。
  はがしたり汚したりしないでください。

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

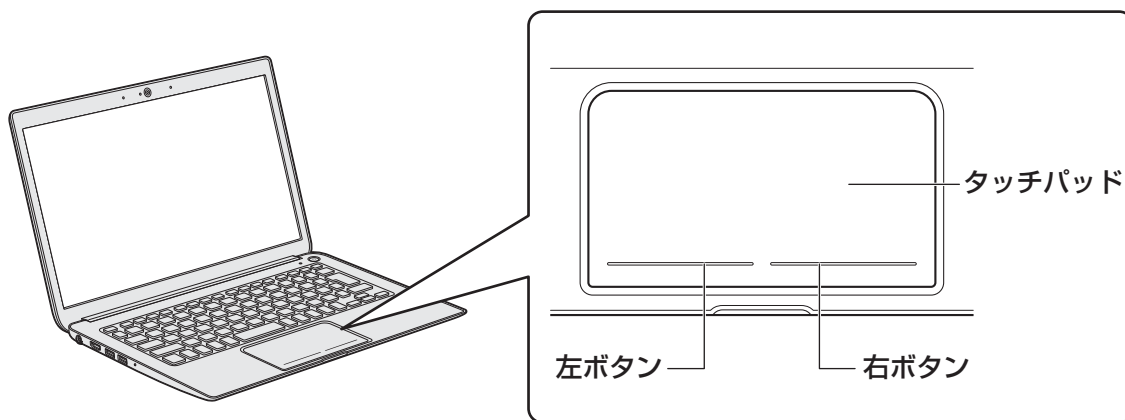
3 ポインターを動かす／文字キーを使う

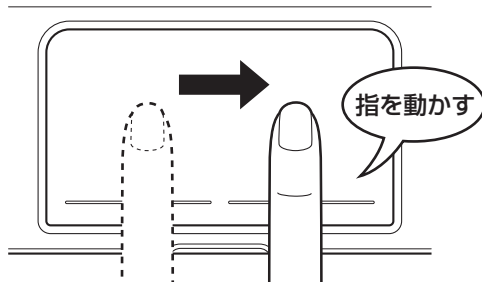
1 タッチパッドで操作する

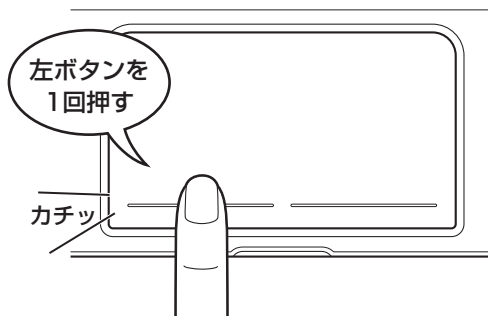
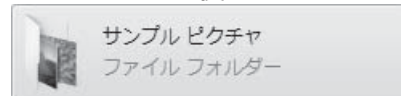
電源を入れてWindowsを起動すると、パソコンのディスプレイに が表示されます。この矢印を「ポインター」といい、操作の開始位置を示しています。この「ポインター」を動かしながらパソコンを操作していきます。
パソコン本体には、「ポインター」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。
タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使ってポインターを動かし、パソコンを操作してみましょう。ここでは、タッチパッドと左ボタン／右ボタンの基本的な機能を説明します。

お願い タッチパッドの操作にあたって

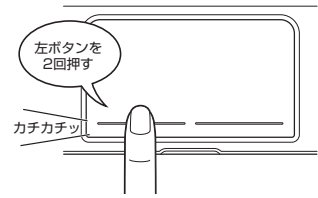
- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 1 - タッチパッドの操作にあたって」

1 矢印（ポインター）を動かす

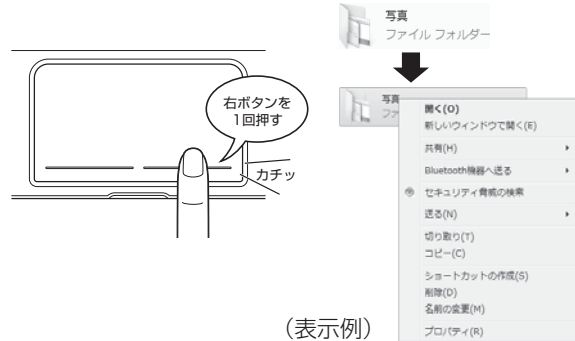
操作を始める位置を示す矢印（ポインター）は、タッチパッドに置いた指の方向に合わせて動きます。指を上下左右に動かしてみましょう。
指がタッチパッドの端まできてしまい、それ以上動かせなくなったときは、いったん指をはなしてから、指を動かせる位置に置き直して操作します。

2 アイコンを選択する

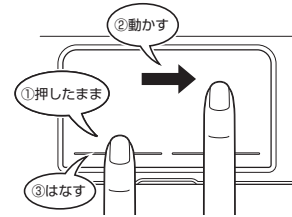
アイコン、文字などを選択するには、ポインターを目的のアイコンや文字などの位置に合わせて、左ボタンを１回押します（クリック）。
アイコンなどを選択すると、色が変わります。

役立つ操作集

ダブルクリックする

ダブルクリックすると、ファイルを開いたりアプリケーションを起動できます。
ポインターを目的の位置に合わせて、左ボタンをすばやく２回押します。

右クリックする

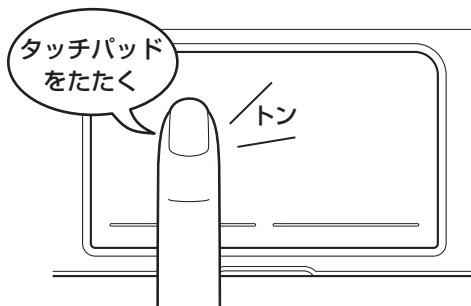
右クリックすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをクリックして選択できます。ポインターを目的の位置に合わせて、右ボタンを１回押します。

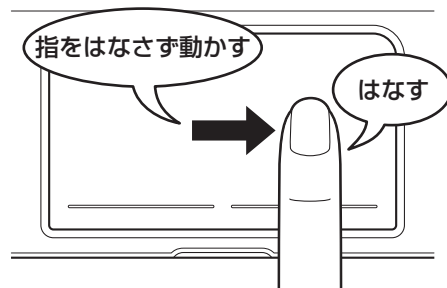
（表示例）

ドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。ポインターを目的の位置に合わせて、左ボタンを押したまま①、別の指でタッチパッドを使ってポインターを動かします②（ドラッグ）。ポインターが目的の位置に移動したら、左ボタンから指をはなします③（ドロップ）。

3 慣れてきたら

慣れてきたら、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

❑ クリック／ダブルクリック

タッチパッドを１回軽くたたくとクリック、２回たたくとダブルクリックができます。

❑ ドラッグアンドドロップ

タッチパッドを続けて２回たたき、２回目はタッチパッドから指をはなさずに目的の位置まで移動し、指をはなします。

参照 タッチパッドの設定変更について
『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 4 - 2 タッチパッド／マウスの使用環境を設定する』

2 画面にタッチして操作する

＊タッチ操作対応モデルのみ

タッチ操作対応モデルでは、画面の表面を指でタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。
ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

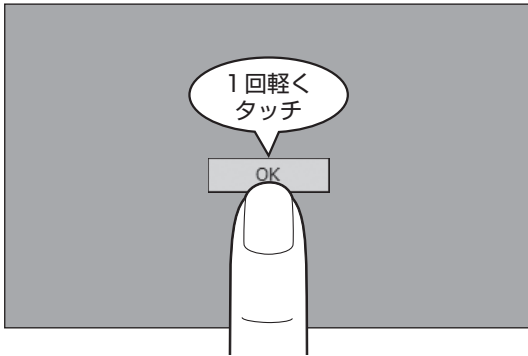
お願い

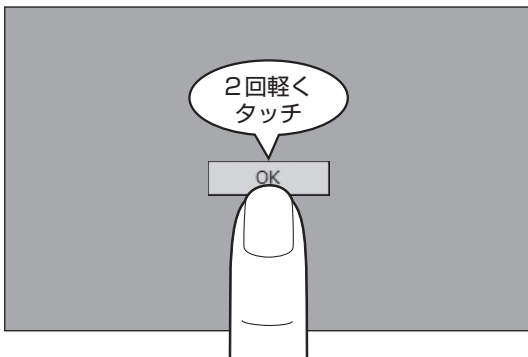
- 画面をタッチするときは、強く押さないでください。
- 画面は指で操作してください。先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。
  保護フィルムを貼ると、タッチ操作が正しく行われないおそれがあります。

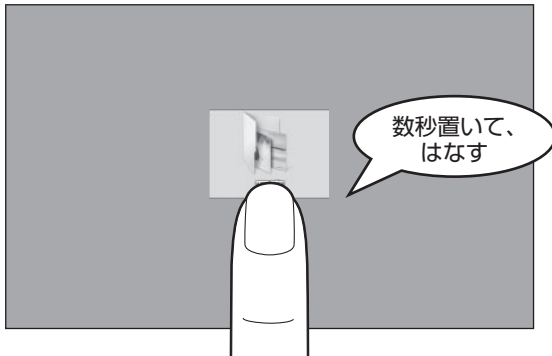
メモ

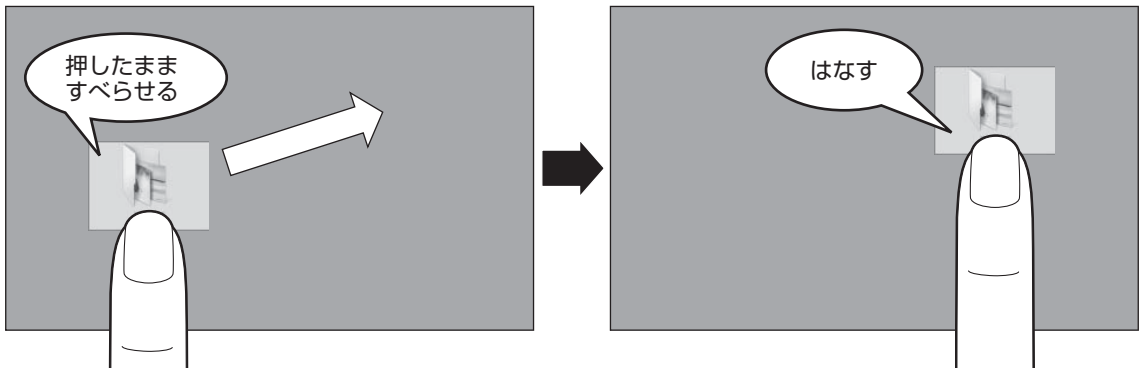
- アプリケーションや機能によっては、画面をタッチして操作できない場合があります。

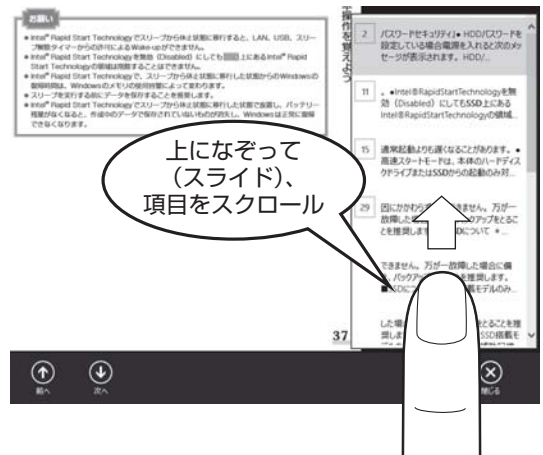
■タップ

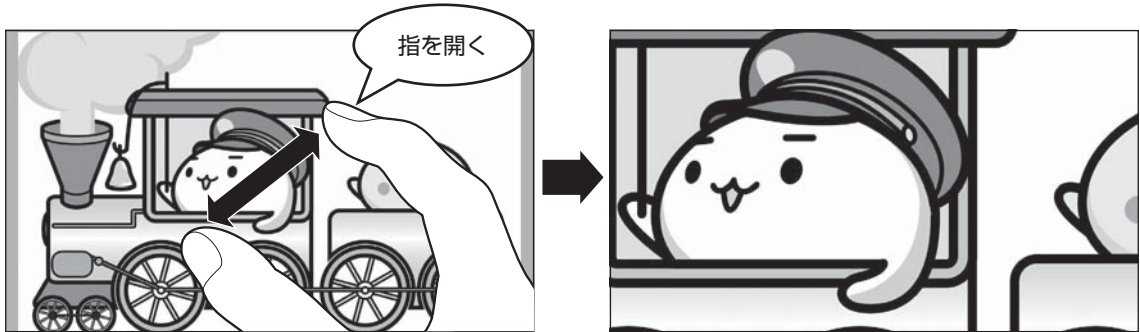
目的のアイコンやボタンなどを１回軽くタッチします。
ボタンの操作、アプリケーションの起動、文字の入力などが行えます。

■ダブルタップ

目的のアイコンやボタンなどを２回軽くタッチします。
アプリケーションの起動などが行えます。

■長押し（ロングタップ）

アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。
触れているアイコンに対して、メニューなどが表示されます。

■ドラッグ

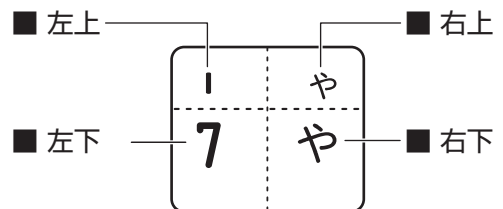
アイコンなどの上に指を置き、移動したい場所まですべらせます。

■フリック／スライド

画面に指を置き、画面を軽くはらうように動かしたり（フリック）、なぞったり（スライド）します。
画面を左右に切り替えたり、画面に表示しきれない一覧をスクロールする場合などに行います。

■ピンチアウト／ピンチイン

画面に指を2本置き、指を開いたり閉じたりすることで、画面に表示している内容や、画像の表示サイズを変更できます。
指を開く（ピンチアウトする）と拡大され、閉じる（ピンチインする）と縮小されます。

メモ

- 2回すばやくタップする操作を「ダブルタップ」と呼びます。
  ダブルタップを行っても、画面に表示している内容などを拡大／縮小できます。

3 キーボードの文字キーの使いかた

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。キーボードの文字入力の状態によって、入力できる文字や記号が変わります。

左上	ほかのキーは使わず、そのまま押すと、アルファベットの小文字などが入力できます。SHIFT キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。
左下	ほかのキーは使わず、そのまま押すと、数字や記号が入力できます。
右上	かな入力ができる状態で SHIFT キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音（そくおん）（小さい「っ」）、拗音（ようおん）（小さい「ゃ、ゅ、ょ」）などが入力できます。
右下	かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

参照 キーボードを使ったいろいろな入力操作『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 1 キーボード』

本書の裏表紙もご確認ください。

4 Windowsを使えるようにする

1 Windowsセットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

1 操作の流れ

パソコンの準備

電源コードとACアダプターを接続する
▼
電源を入れる
▼

電源を入れてから

ライセンス条項に同意する
▼
東芝のサービス情報メールについて選択する
▼
ウイルスバスターの使用について選択する
▼
画面の基本色を選択する
▼
コンピューター名を入力する
▼
基本的な項目を設定する
▼
ユーザー名とパスワードを入力する
▼
セットアップ完了

お願い セットアップをするときの注意

■ **周辺機器は接続しないでください**

- セットアップを開始する前に、パソコン本体に電源コードとACアダプター以外のものが接続されていないことを確認してください。
  電源コードとACアダプター以外のものが接続されている場合は、パソコン本体の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。
  セットアップは電源コードとACアダプターのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器やLANケーブルは接続しないでください。

■ **途中で電源を切らないでください**

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ **操作は時間をあけないでください**

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、SHIFTキーを押すか、タッチパッドをさわってください。
  SHIFTキーやタッチパッドでは復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

■ **無線通信機能がONであるか確認してください**

- Windows セットアップを始める前にワイヤレスコミュニケーションLEDが点灯していることを確認してください。

2 電源コードとACアダプターを接続する

⚠ 警 告

- **ACアダプターは本製品に付属のものを使用する**
  本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **パソコン本体にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する**
  順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。
  また、ACアダプターのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

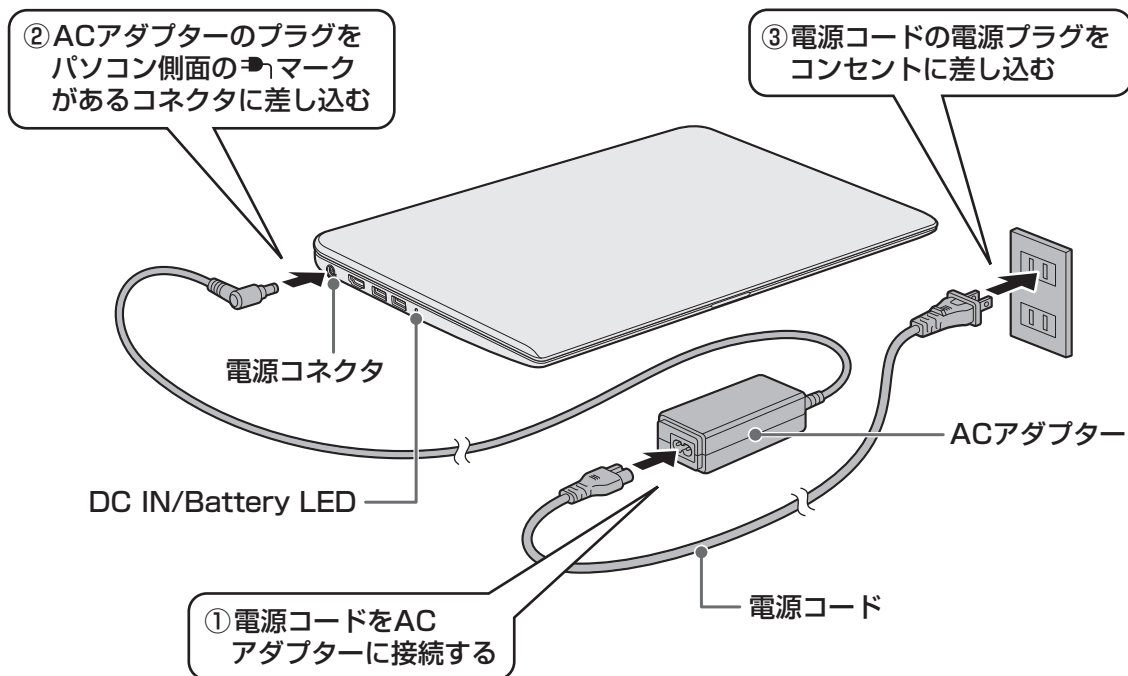
⚠ 注 意

- **付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない**
  付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」

次の図の①→②→③の順で行ってください。

接続すると

システムインジケーターのDC IN/Battery / LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN/Battery / LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 DC IN/Battery / LED「3章 3 - 1 バッテリー充電量を確認する」

メモ

- バッテリー充電中でもパソコンを使用することができます。

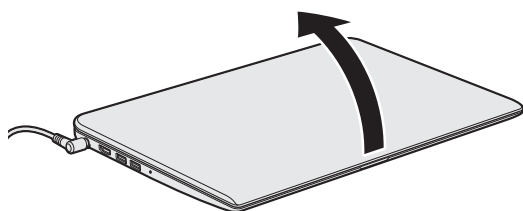
参照 詳細について「3章 3 バッテリーについて」

3 電源を入れる

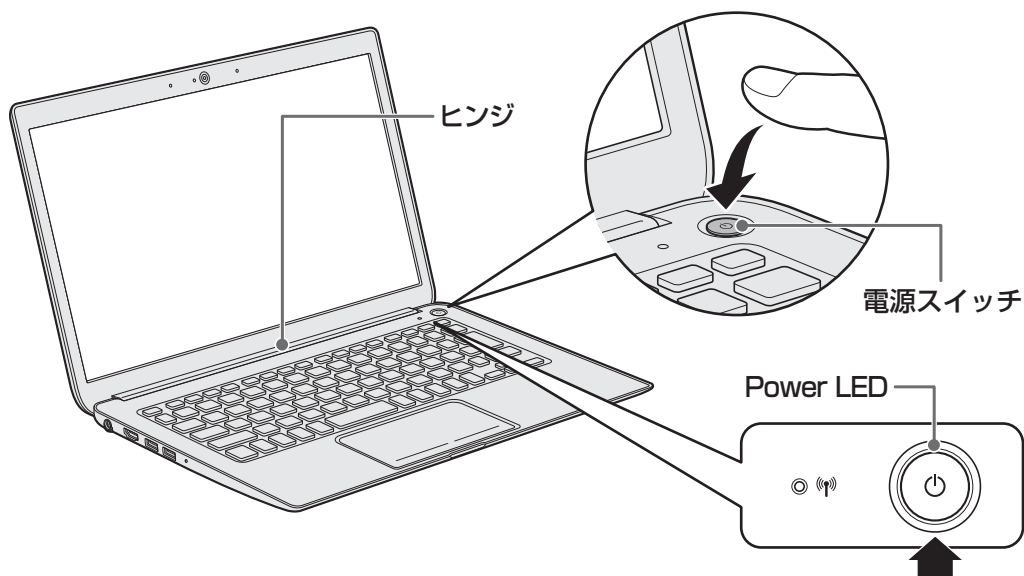
お願い 本体液晶ディスプレイを開けるときは

- 本体液晶ディスプレイを開き過ぎるとヒンジ（手順 2 参照）に力がかかり、破損や故障の原因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

1 パソコンのディスプレイを開ける

ディスプレイを開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ（画面）部分には触れないようにしてください。

片手でパームレスト（キーボード手前部分）をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

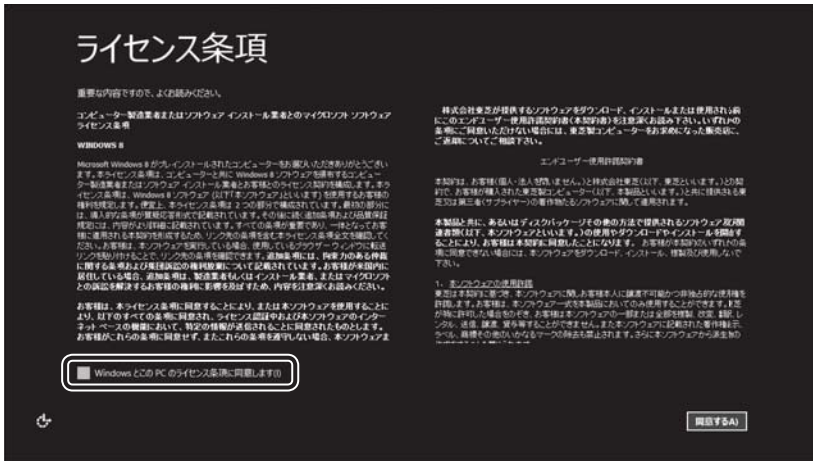
2 電源スイッチを押し、指をはなす

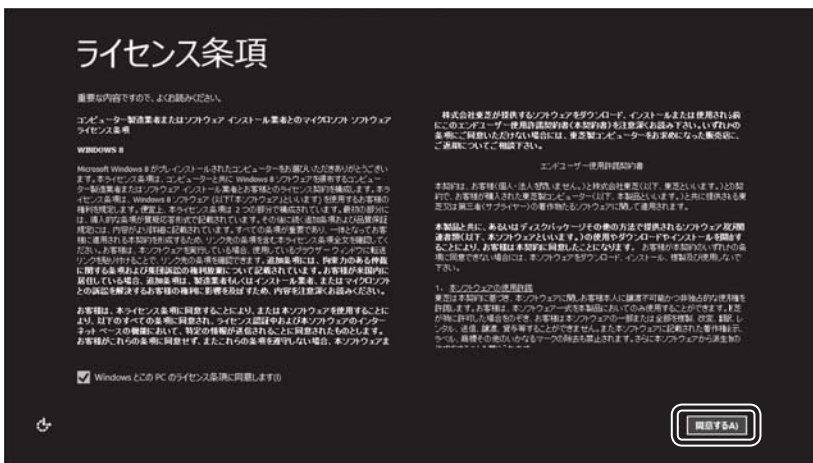
確実に電源スイッチを押してください。
Power ⏻ LEDが白色に点灯することを確認してください。

これでパソコンの準備は完了です。
続いてWindowsのセットアップに進みます。

4 Windowsのセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。

1 Windowsと東芝のライセンス条項の内容を確認し、［ライセンス条項に同意します］の左にある をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windowsやパソコンを使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ボタンをクリックします。

をクリックすると になります。

2 ［同意する］をクリックする

［情報提供・サービスのご案内］画面が表示されます。

3 東芝のサービス情報メール用アドレスを入力する

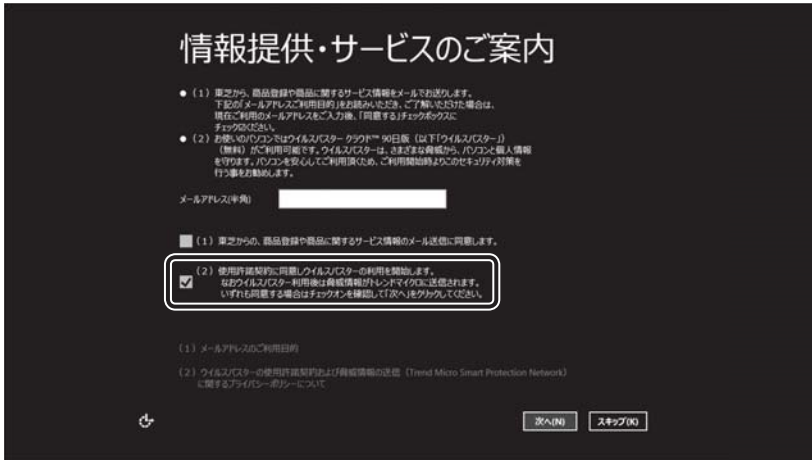
既にメールアドレスを持っていて、東芝からサービス情報メールが送られても良い場合に入力してください。
メールアドレスは間違えないよう、気を付けて入力してください。

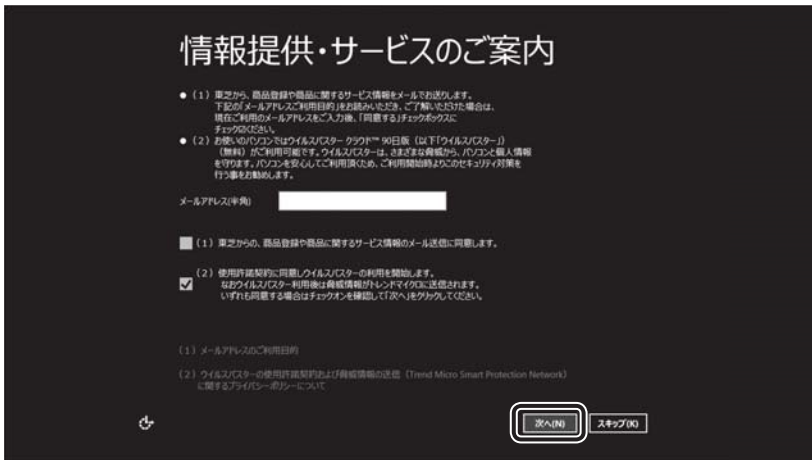
メールアドレスをまだ持っていない、またはサービス情報メールを受け取りたくない場合は、何もしないでそのまま手順 **5** に進んでください。
東芝からのサービス情報メールは、あとでメールアドレスを取得してから、お客様登録を行い、受け取ることもできます。

4 画面下部の［（1）メールアドレスのご利用目的］をクリックしてよく読んでから①、［メール送信に同意します。］の左にある ☐ をクリックする②

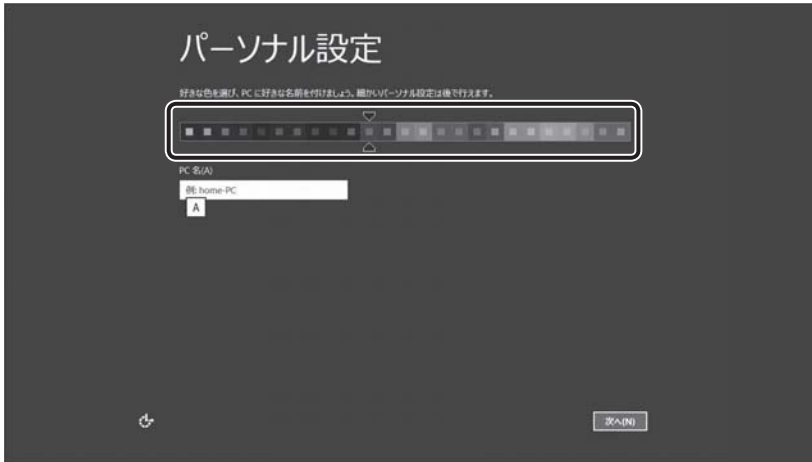
5 ウイルスチェックソフトを使用するかどうか選択する

安全にパソコンを使用するために、ウイルスチェックソフトの使用を強くおすすめします。

本製品に用意されている「ウイルスバスター」を使用する場合は、そのまま何も操作する必要はありません。「ウイルスバスター」を使用しない場合は、☑ をクリックして ☐ にしてください。

「ウイルスバスター」はあとからでも使用を開始できます。

6 ［次へ］をクリックする

［パーソナル設定］画面が表示されます。

7 好きな色を選択する

Windows画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をクリックしてください。

色はあとから変更できます。

次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

8 PC（コンピューター）名を入力する

半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください。**

「｜」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「dynabook」と入力するときは、キーボードで D Y N A B O O K と押します。

■キーを押しても表示されないときは

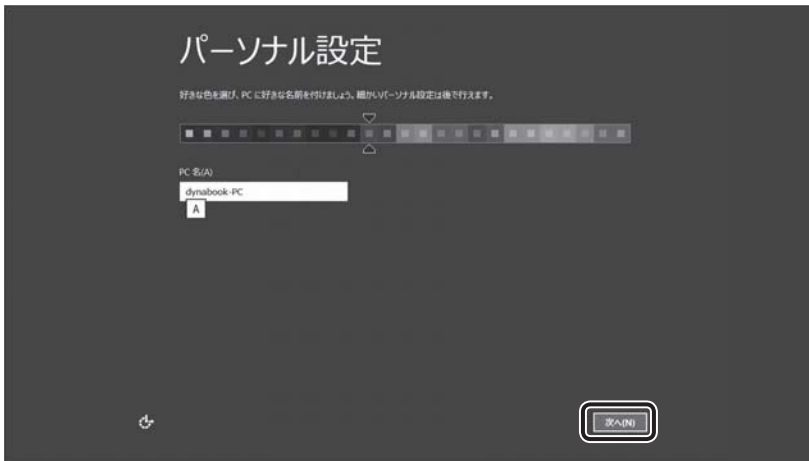
キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、［PC名］の下の欄をクリックしてください。

■入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する .... BACKSPACE キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する .... DEL キーを押す

カーソルを左右に動かすには、 ← キーまたは → キーを押します。

9 ［次へ］をクリックする

［ワイヤレス］画面が表示されます。

10 無線LANの設定を省略するので、［後でワイヤレス ネットワークに接続する］をクリックする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

（表示例）

［設定］画面が表示されます。

11 ［簡単設定を使う］をクリックする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

［PCへのサインイン］画面が表示されます。

次の手順の前に「ユーザー名」とは

ユーザー名は、Windowsを使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。
管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

12 ユーザー名を入力する

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。**ユーザー名は、半角英数字で入力してください。**

■ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

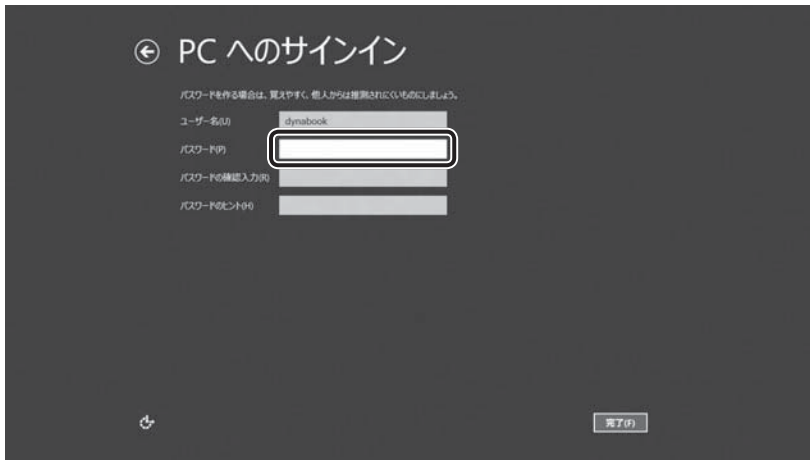
次の手順の前に 「パスワード」(Windowsパスワード)とは

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。
ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsパスワード」と呼びます。

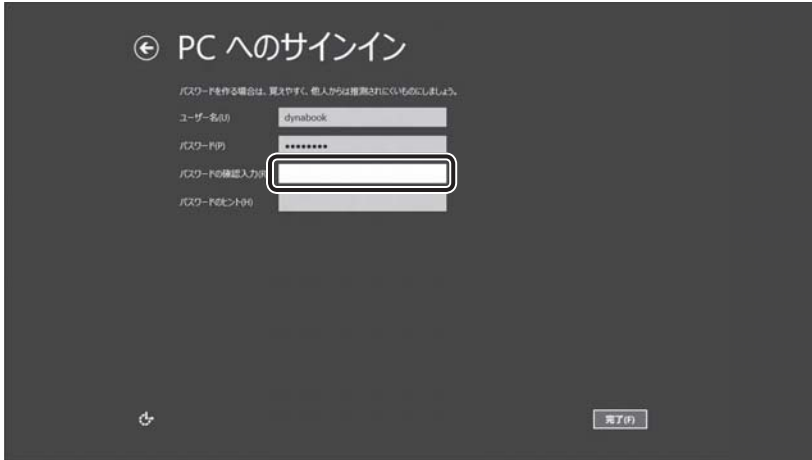
お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

13 パスワードを入力する

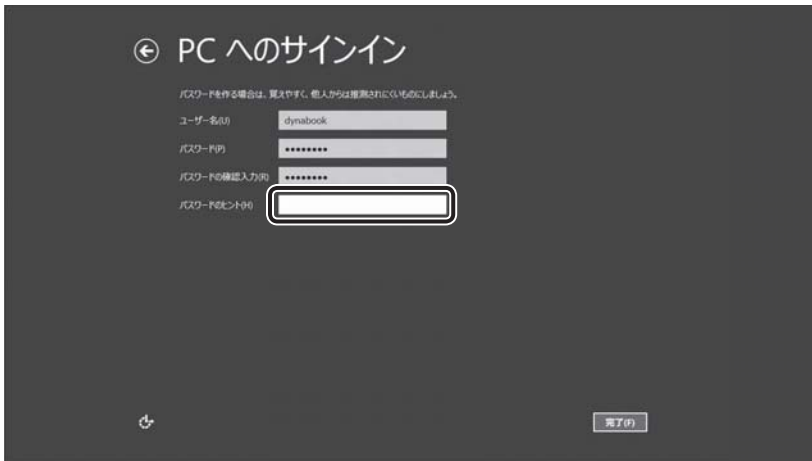
[パスワード]と書いてある右の欄に、Windowsパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windowsパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windowsパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

14 パスワードをもう一度入力する

［パスワードの確認入力］と書いてある右の欄に、手順 13 で入力したWindowsパスワードを、もう一度入力してください。

次の手順の前に 「パスワードのヒント」とは

設定したWindowsパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておくと、パスワード入力画面で表示させることができます。

15 パスワードのヒントを入力する

［パスワードのヒント］と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

16 ［完了］をクリックする

17 パソコンの設定が準備される

Windowsセットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、*SHIFT* キーを押してください。次の画面に進みます。
パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して *ENTER* キーを押してください。

Windowsが起動します。

（表示例）

「ウイルスバスター」の画面が表示された場合は、「2章 2 - 3 ウイルスバスターによるウイルス対策」を確認してください。
「東芝サービスステーション」のメッセージが表示された場合は、次の「本項 5 「東芝サービスステーション」について」を確認してください。

メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、SHIFTキーを押すか、タッチパッドをさわってください。
  SHIFTキーやタッチパッドでは復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

5 「東芝サービスステーション」について

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「東芝サービスステーション」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。
このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。

メモ

- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」の「よくある質問 FAQ」やウイルス・セキュリティ情報と「Microsoft Update」などをあわせてご利用ください。

設定方法

「東芝サービスステーション」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

1 スタート画面の［デスクトップ］をクリックする

デスクトップ画面が表示されます。

2 ［デスクトップアプリメニュー］アイコン（ ）をダブルクリックする

「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。

3 ［サポート & リカバリー］→［サービスステーション］または［Service Station］をクリックする

「東芝サービスステーション」が起動します。

初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

4 内容を確認し、［同意する］ボタンをクリックする

使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

使用方法

■ソフトウェアのアップデートがある場合

本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSにアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■本製品に対するお知らせがある場合

本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

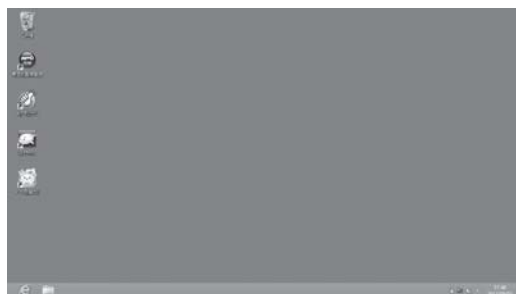
手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合は、「東芝サービスステーション」を起動して［すべてのアップデートを確認］をクリックしてください。

5 Windows 8について

Windows 8の画面構成やメニューの位置は、Windows 7などの従来のWindowsとは異なっています。
従来のWindowsとWindows 8で大きく異なる点は、メイン画面が2種類あることです。
起動して最初に表示される「スタート画面」と、従来のWindowsに似ている「デスクトップ画面」があります。

<スタート画面>

（表示例）

<デスクトップ画面>

（表示例）

1 画面の切り替えについて

スタート画面とデスクトップ画面の切り替えかたについて説明します。
目的や好みに応じて画面を使い分けてください。

❑スタート画面からデスクトップ画面に切り替える

1 ［デスクトップ］をクリックする

＊［デスクトップ］アイコン（タイル）は、デスクトップ画面の壁紙によって表示されるアイコンが異なります。
またモデルや使用状況により、画面上での位置が異なる場合があります。

（表示例）

デスクトップ画面が表示されます。

❑ デスクトップ画面からスタート画面に切り替える

1 ポインターを画面の左下隅に合わせ、表示されたスタート画面のアイコンをクリックする

(表示例)

スタート画面が表示されます。

2 チャームとアプリケーションの切り替えについて

画面の4隅にポインターを合わせると、バーが表示されます。右側のバーは、「チャーム」と呼ばれるメニューバーです。左側のバーは、起動しているアプリケーションを切り替えることができます。両方とも、すべての画面で表示することができます。

1 チャームの操作方法

1 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる

または、画面の右端から左に向かって指でフリックしてください。＊1

＊1 タッチ操作対応モデルのみ

(表示例)

5つのメニューアイコンが表示されます。

2 目的の項目を選択する

（表示例）

上から［検索］、［共有］、［スタート］、［デバイス］、［設定］です。
内容は、次のとおりです。

- **検索**
  アプリケーションやファイルなどを検索します。
- **共有**
  共有するためのツールが用意されています。
- **スタート**
  画面を切り替えます。
- **デバイス**
  パソコンに接続している周辺機器を表示します。
- **設定**
  設定メニューです。電源を切るためのメニューもここにあります。

2 スタート画面でアプリケーションを切り替える方法

1 ポインターを画面の上または下の左隅に合わせる

または、画面の左端から右に向かって指でフリックしてください。*1

＊1 タッチ操作対応モデルのみ

（表示例）

ポインターを合わせた場所によって、次の項目が表示されます。

①現在起動しているアプリケーションの中から最後に使用したアプリケーションのアイコンが表示されます。

②スタート画面を表示している場合は、現在起動しているアプリケーションの中から最後に使用したアプリケーションのアイコンが表示されます。
スタート画面でアプリケーションを起動している場合は、スタート画面のアイコンが表示されます。

表示させたあとに①から②、または②から①にポインターを移動させると、現在起動しているアプリケーションの一覧が表示されます。

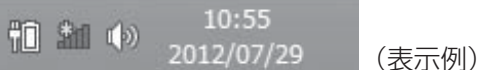
2 使用したいアプリケーションをクリックする

（表示例）

＊画面は、現在起動しているアプリケーションの一覧を表示した例です。

日付と時刻の確認

日付と時刻は、デスクトップ画面右下の［通知領域］に表示されています。
正しく設定されているかどうか確認してください。

10:55
2012/07/29
（表示例）

正しく設定されていない場合は、『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

Windows 8でわからない操作があったとき

Windows 8の使いかたについては、スタート画面のタイルのない部分で右クリック→［すべてのアプリ］→［Windowsシステムツール］の［ヘルプとサポート］をクリックして、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
Windows 8の最新情報は次のホームページから確認できます。

- **Windows 8について**
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windows/default.mspx

Windows 8の基本操作については、「動画で学ぶ Windows 8」をご覧ください。

Windowsを最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

参照 「Windows Update」について
『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 3 - 2 Windowsを最新の状態にする』

ドメインに接続する

＊8 Proモデルの場合

企業内など、ある1つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。
ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。
ドメインのユーザー名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
本製品を複数のユーザーで使用している場合はAdministratorと呼ばれる管理者のユーザーに切り替えてから設定を行ってください。

1 スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
デスクトップ画面が表示されます。

2 ［デスクトップアプリメニュー］アイコン（ ）をダブルクリックする
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。

3 ［コントロールパネル］をクリックする

4 ［ システムとセキュリティ］をクリックする

5 **[システム]をクリックする**

6 **[コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定]の[設定の変更]をクリックする**

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

7 **[コンピューター名]タブで[変更]ボタンをクリックする**

8 **[ドメイン]をチェックしてから接続するドメインの名前を入力し、[OK]ボタンをクリックする**

9 **ドメインの[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[OK]ボタンをクリックする**

10 **[OK]ボタンをクリックする**

11 **[OK]ボタンをクリックする**

パソコンを再起動してください。

リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。
リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元(リカバリー)するためのものです。

参照 リカバリーメディアについて
『パソコンで見るマニュアル 便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて「4章 買ったときの状態に戻すには」

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。
一度なくしたデータを復旧することはできません。
万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

＊ CD/DVD/ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD/DVD/ブルーレイディスクドライブ(市販品)が必要です。
ただし、すべての外付けCD/DVD/ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

参照 バックアップについて『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 6 バックアップをとる』

6 電源を切る／入れる

1 電源を切る

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 スリープについて『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 5 - 2 スリープ』

⚠警 告

- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - ・無線通信機能は、FN＋F12キーを押してOFFにすることができます。FN＋F12キーを押して［機内モード オン］に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  - ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - ・電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・Intel® Rapid Start Technologyで休止状態になっている場合がありますので、確実に電源を切るため、一度パソコンを起動し、その後電源を切って（シャットダウンして）ください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- SSDやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

1 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる

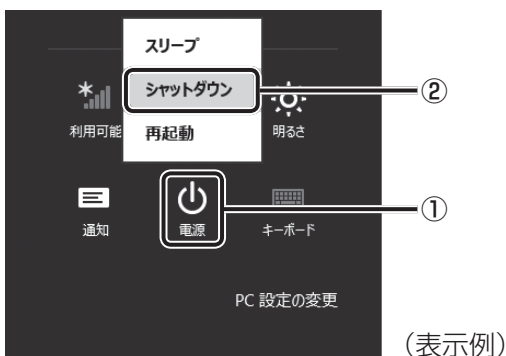
（表示例）

チャームが表示されます。

2 ［設定］をクリックする

画面右側に［設定］画面が表示されます。

3 ［電源］をクリックし①、表示されたメニューから［シャットダウン］をクリックする②

（表示例）

Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコンの電源が切れると、Power ⏻ LEDが消灯します。

メモ

- システムが操作できなくなり、チャームの［設定］画面から電源を切ることができない場合は、電源スイッチを５秒以上押すと、強制的に電源を切る（強制終了）ことができます。
  強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。

お願い　電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOSセットアップの設定などを行う場合は、SHIFTキーを押しながら、メニューから［シャットダウン］をクリックしてください。

■再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう一度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、次のように操作してください。

① チャームの［設定］をクリックする

画面右側に［設定］画面が表示されます。

② ［電源］をクリックし、表示されたメニューから［再起動］をクリックする

2 電源を入れる

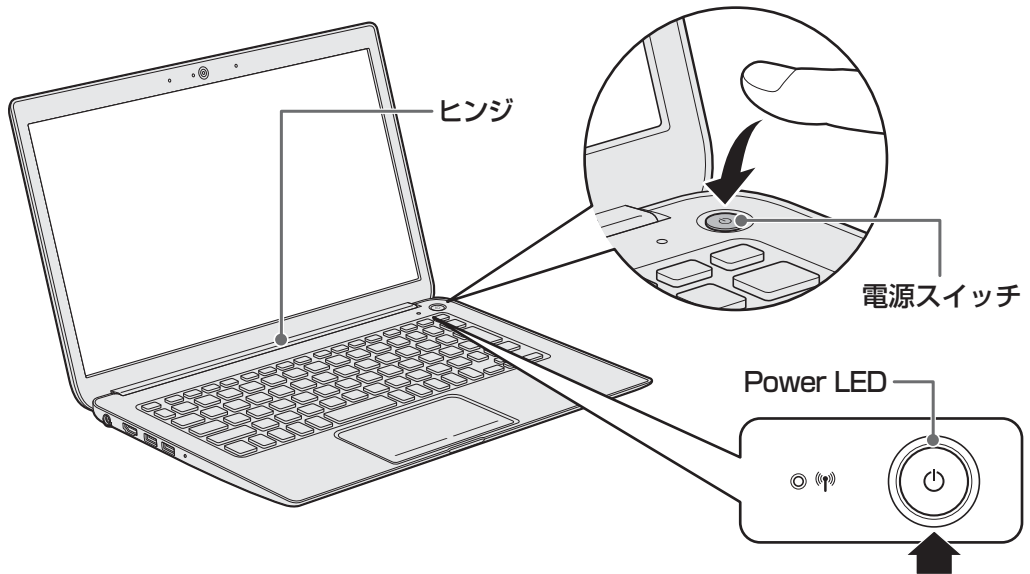
Windowsセットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

お願い 電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

Power ⏻ LEDが白色に点灯することを確認してください。

これでパソコンの準備は完了です。

続いてWindowsのセットアップに進みます。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、SHIFTキーを押してください。

または、画面の下側から上に向かって指でフリックしてください。＊1

＊1 タッチ操作対応モデルのみ

次の画面に進みます。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

複数のユーザーで1台のパソコンを使用している場合、表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、［ユーザーの切り替え］ボタン（ ）をクリックしてください。ユーザーの一覧が表示され、希望のユーザーを選択できます。

Windowsが起動します。

メモ

- 本製品には、スリープから一定時間後に休止状態に変わるIntel® Rapid Start Technologyが搭載されており、購入時の設定では有効になっています。

  参照 『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 5 - 4 スリープから一定時間後に休止状態にする』

- パネルオープンパワーオン機能を有効に設定した場合、ディスプレイを開くと、自動的にパソコンの電源が入るようになります。
  本機能を使用するには、あらかじめ「デスクトップアプリメニュー」の［ユーティリティ］→［システムセッティング］→［起動オプション］で、有効にする必要があります。

  参照 『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 5 - 6 ディスプレイを開くと、電源が入るようにする』

電源に関する表示

電源の状態はシステムインジケーターの点灯状態で確認することができます。
電源に関係あるインジケーターとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN/Battery / LED	白色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している（バッテリー充電完了）
	オレンジ色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している（バッテリー充電中）
	オレンジ色の点滅	充電が必要
	消灯	電源コードとACアダプターを接続していない
Power LED	白色の点灯	電源ON
	オレンジ色の点滅	スリープ中
	消灯	電源OFF、休止状態

＊ 電源に関するトラブルについては、「5章 2 Q&A集」を参照してください。

メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、SHIFTキーを押すか、タッチパッドをさわってください。
  SHIFTキーやタッチパッドでは復帰せず、Power LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

7 マニュアルで見る パソコンの使いかた

本製品には、本書をはじめとした冊子のマニュアルと、パソコンの画面で見る電子マニュアルがあります。知りたいことに合わせて、各マニュアルをお読みください。
本製品の操作説明は、大半がパソコンの画面に表示させて見るマニュアル（電子マニュアル）にあります。紙の冊子マニュアルをできるだけ少なくすることによって、少しでも環境保全に役立てるよう、エコ活動を推進しております。

1 冊子マニュアル

ここでは、本製品に付属している次のマニュアルについて説明します。

❑ スタートアップガイド

パソコンを使い始めるときにお読みください。
パソコンを購入して最初にする準備を、簡潔に説明しています。

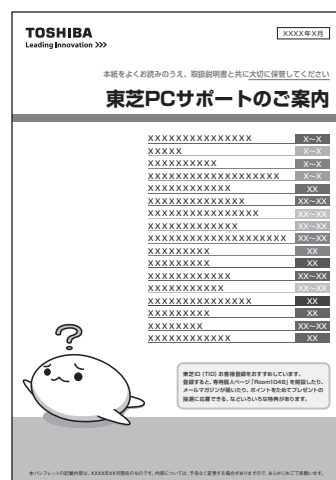
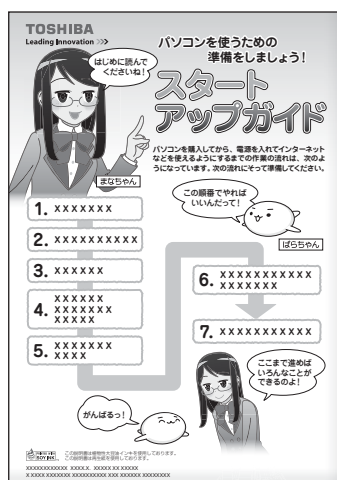
❑ マニュアル紹介ガイド

メールを使いたい、音楽を聴きたいなど、やりたいことが説明されている場所を紹介しています。

❑ dynabook ガイド（本書）

Windows セットアップ方法や Windows の基本操作について説明しています。インターネットやバッテリーについて、トラブルが起きたときの基本的な Q&A、リカバリー（購入時の状態に戻す）方法の説明があります。

❑ 東芝 PC サポートのご案内

修理や訪問サポートの窓口など、サポート体制について紹介しています。

このほかにも、モデルによって付属しているマニュアルがありますので、必要に応じてお読みください。

2 パソコンの画面で見るマニュアル

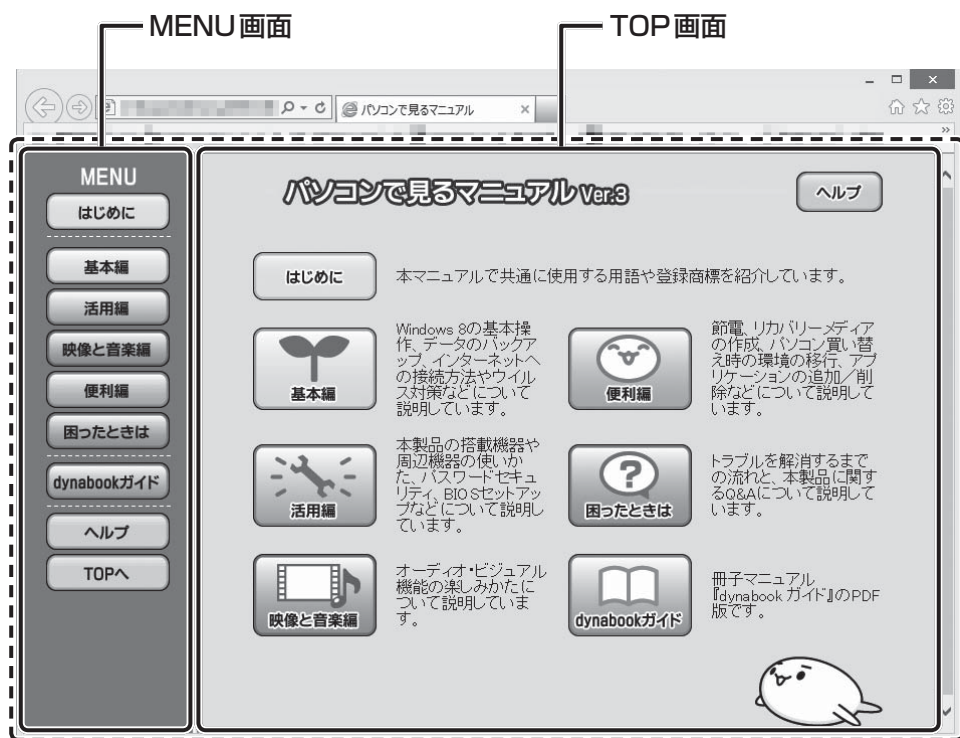
ここでは、パソコンの画面で見るマニュアル（電子マニュアル）について紹介します。

パソコンで見るマニュアル

基本的な操作から活用方法、困ったときの対処方法などを説明しています。

❑ 起動方法

スタート画面の［デスクトップ］をクリックし、デスクトップ上の［パソコンで見るマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリックします。

起動すると『パソコンで見るマニュアル』のトップページが表示されます。
画面左側のMENU画面または画面右側のTOP画面から、読みたい編の名前のボタンをクリックしてください。
TOP画面が読みたい編に切り替わります。

MENU画面とTOP画面を合わせた全体の画面を「HOME画面」とよびます。

メモ

- 「Adobe Reader」の使用許諾画面が表示された場合は、画面の内容をよく読み、［同意する］をクリックしてください。

❏ 各編の内容

「パソコンで見るマニュアル」は次の内容で構成されています。

はじめに	Trademarks、用語について
基本編	Windows 8について、マウスの使いかた、電源の切りかた、バックアップ、インターネットへの接続・設定方法、無線LAN、ウイルス対策
活用編	本製品にどんな機能があるのか、どんな周辺機器が使えるのか、各種パスワードの設定方法、BIOSセットアップ、ハードウェアの設定方法
映像と音楽編	オーディオ・ビジュアル機能の楽しみかた
便利編	節電、リカバリーメディアの作成、パソコン買い替え時の環境移行、アプリケーションの追加と削除方法
困ったときは	トラブルを解消するまでの流れ、Q&A集
dynabookガイド	『dynabookガイド』（本書）のPDF版です。

❏ 各編を開いたら

画面の構成やアイコンの機能は、次のようになっています。

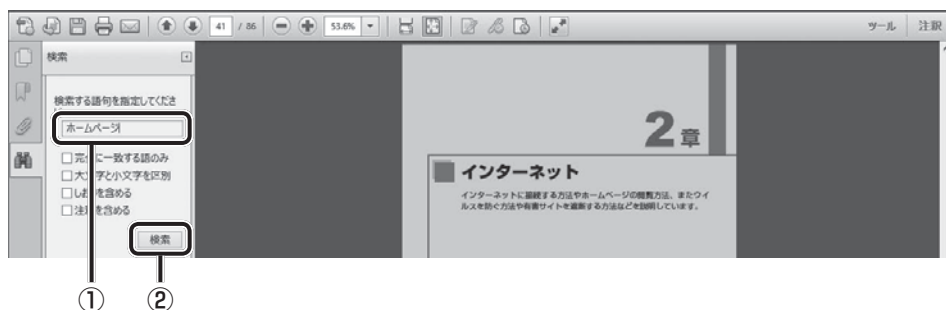
❏ 検索する

キーワード検索で読みたいページを探すことができます。
検索対象は、同一文書内となります。

1 **画面左側の［検索の結果を表示］（ ）をクリックする**

［検索］画面が表示されます。

2 **［検索する語句を指定してください。］の下の入力欄に検索したいキーワードを入力し①、［検索］ボタンをクリックする②**

検索結果を絞り込みたい場合は、必要に応じて入力欄の下にある項目にチェックを付けてください。

検索結果が表示されます。

■ 検索結果の確認について

［結果］に表示された一覧から確認したい項目をクリックすると、カーソルが検出されたキーワードへ移動します。

❏ 印刷する

『パソコンで見るマニュアル』の印刷方法は、次のとおりです。

＊ **印刷には、プリンターが必要です。**

1 **ツールバーの［ファイルを印刷］（ ）をクリックする**

［印刷］画面が表示されます。

2 **必要に応じて、［プリンター］や［印刷するページ］など、各種設定をする**

3 **［印刷］ボタンをクリックする**

『パソコンで見るマニュアル』のより詳しい使いかたは、ヘルプを参照してください。ヘルプは『パソコンで見るマニュアル』画面で［ヘルプ］ボタンをクリックすると表示されます。

動画で学ぶシリーズ

「動画で学ぶシリーズ」では、ぱらちゃんが、パソコンを楽しむためのいろいろな機能を動画でわかりやすく紹介しています。

■起動方法

①スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする
②［すべてのアプリ］をクリックする
③［ 動画で学ぶシリーズ］をクリックする

おたすけナビ

「おたすけナビ」は、お使いのパソコンに用意されているアプリケーションの中から、目的のアプリケーションをすばやく探し出し、直接起動することができます。やりたいことはわかっているけれど、どのアプリケーションを使えばよいかわからないときに便利な機能です。

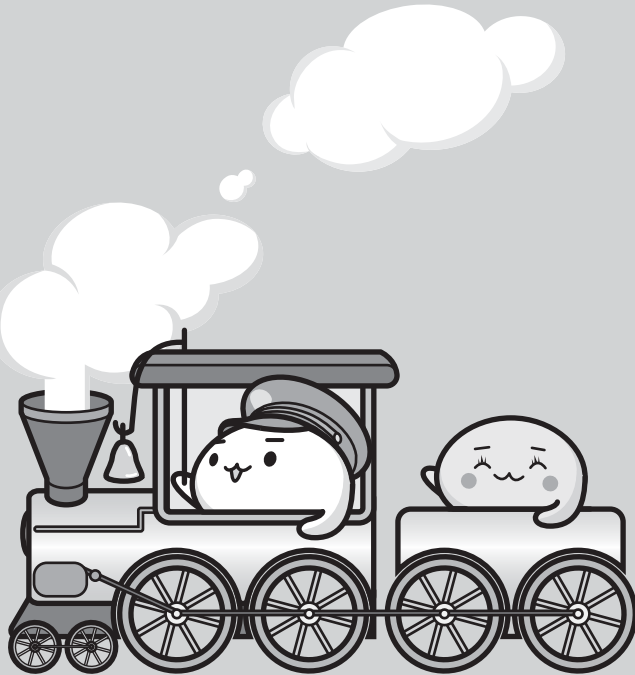
（表示例）

■起動方法

①スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする
②［すべてのアプリ］をクリックする
③［ おたすけナビ］をクリックする

2章

インターネットを快適に利用するために
ーウイルスチェック／セキュリティ対策ー

インターネットを使っていると、コンピューターウイルスなどによって知らない間にトラブルが襲いかかってくるおそれがあります。
この章では、インターネットを使うための準備と、より安全にインターネットを利用する方法について説明します。

1 インターネットを使うには

ホームページを閲覧するには、ケーブルの接続や設定が必要です。

使用するまでの流れ

プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

▼

インターネットに接続するための回線機器と、パソコンを接続する

インターネットへの接続方法によって接続する機器は異なります。

参照 「本節 1 無線LANで接続する」
『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 2 - 1 無線LANでインターネットに接続する』

▼

ウイルスチェックソフトを設定する

インターネットやメールに添付されたファイルなどでコンピューターウイルスに感染する場合があります。感染すると、パソコンが使用できなくなることがありますので、インターネット接続やメールのやり取りをする前に、ウイルスチェックソフトの設定をしてください。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

▼

インターネットとメールの設定をする

インターネットの設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた資料などを参照してください。メールを使う場合は、メールソフトの設定も必要です。

参照 「本節 2 メールを使用するために」
『メールソフトに付属の説明書』、メールソフトのヘルプ

▼

設定完了

メモ

- 本製品に用意されているウイルスチェックソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。
  日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。

参照 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

1 無線LANで接続する

⚠警 告

- **心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す**
  電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る**
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - ・無線通信機能は、FN＋F12キーを押してOFFにすることができます。FN＋F12キーを押して［機内モード オン］に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  - ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - ・電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・Intel® Rapid Start Technologyで休止状態になっている場合がありますので、確実に電源を切るため、一度パソコンを起動し、その後電源を切って（シャットダウンして）ください。

お願い

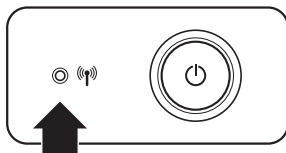
- あらかじめ、次の説明を確認してください。
  参照 「付録 1 - 3 無線LANについて」
- 『安心してお使いいただくために』に、セキュリティに関しての注意事項や使用上の注意事項を説明しています。
  無線LANを使用する場合は、その記述を読んで、セキュリティの設定を行ってください。

1 FN＋F12キーを押す

FNキーを押したままF12キーを押すたびに、画面左上にメッセージが表示されて無線通信機能のON／OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON

機内モード オン：無線通信機能OFF

無線通信機能をONにすると、ワイヤレスコミュニケーション LEDが点灯します。

以降の無線LANの設定は、『パソコンで見るマニュアル』を確認してください。

参照 『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 2 - 2 無線LANを設定する』

2 メールを使用するために

メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。
メールソフトには、Windows 8のメール機能や、Office搭載モデルの場合は「Outlook 2013」などがあります。

- **Windows 8のメール機能の起動方法**

①スタート画面の［メール］をクリックする

Windows 8のメール機能を使用するには、Microsoftアカウントが必要です。

参照 詳細について『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 9 Microsoftアカウントについて』

- **「Outlook 2013」の起動方法**

「Outlook 2013」を使用するにはライセンス認証が必要です。

①初めて「Office」を起動する場合は、スタート画面の［Microsoft Office］をクリックする
以降は、画面の指示に従ってください。
ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。
プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

②スタート画面の［Outlook 2013］をクリックする
初めて「Outlook 2013」を起動したときは、「Outlook 2013へようこそ」という画面が表示されます。必要に応じて、設定を行ってください。

「Outlook 2013」の使いかたについては、起動後［Microsoft Outlookヘルプ］ボタン（?）をクリックして表示されるヘルプを参照してください。

メモ

- メールの送受信を行う前にウイルスチェックソフトを設定することをおすすめします。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
ーウイルス・インターネットセキュリティー

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティ用のアプリケーションを紹介します。

お願い 使用するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 4 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」

役立つ操作集

アクションセンターについて

「アクション センター」は、セキュリティの設定をしたり、Windows ファイアウォール、自動更新、ウイルスチェックソフトの状態をチェックしたりするなど、パソコンのセキュリティを向上させるお手伝いをします。

10:55
2012/07/29

アクション センターはパソコンが危険にさらされている場合、デスクトップ画面の通知領域に アイコンなどで警告します。

参照 『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 3 - 1 セキュリティの状態を確認するには』

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスは、インターネットや、メールに添付されたファイルを介してパソコンに入り込んでしまうことがあります。
コンピューターウイルスに感染すると、次のようなことがおこる可能性があります。

- パソコンのデータが破壊され、パソコンを使用できなくなる
- インターネットを経由して、パソコンに残している個人情報にアクセスされる

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスからパソコンを保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェック機能があるソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、次のソフトが用意されています。

- **ウイルスバスター**
  ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。

参照 ウイルスバスターについて「本節 3 ウイルスバスターによるウイルス対策」

本製品に用意されている「ウイルスバスター」以外のソフトを使用する場合

本製品に用意されている「ウイルスバスター」以外のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを使用する場合は、「ウイルスバスター」をパソコンからアンインストール（削除）してから、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールしてください。
アンインストールは、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」で行います。

参照 アンインストール方法『パソコンで見るマニュアル 便利編 6章 2 アプリケーションの削除』

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、いろいろな情報を見ることができて大変便利です。しかしその反面、インターネット上には次のような有害なものが存在します。

・コンピューターウイルス
　パソコンに侵入し、パソコン内に保存してあるデータを破壊するなどの悪さを行います。
・スパイウェア
　パソコンに侵入し、パソコン内の情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出します。
・有害サイト
　お子様に適さないサイトや、ウイルスに感染しているサイトなど、ユーザーに悪影響を与えるおそれがあるサイトです。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。

メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター6.0」が用意されています。

参照 「i-フィルター6.0」について「本章 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスターによるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、90日間の使用期限がある体験版です。使用するには、インストールする必要があります。

メモ

- Windowsセットアップで［使用許諾契約に同意しウイルスバスターの利用を開始します。］をチェックしたまま完了した場合、自動的に「ウイルスバスター」がインストールされ、メールアドレスの入力画面が表示されます。メールアドレスを既に持っている場合は入力し、［完了］ボタンをクリックしてください。メールアドレスは登録しなくても使用できます。

「ウイルスバスター」には、次のような機能があります。

- コンピューターウイルスを検出／除去する
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する
- フィッシング詐欺への対策をする
- スパイウェアを検出して処理する
- 個人情報の漏えいを防止する

など

詳しくは、ヘルプを確認してください。
自動的にインストールされない場合は、次の手順でインストールしてください。

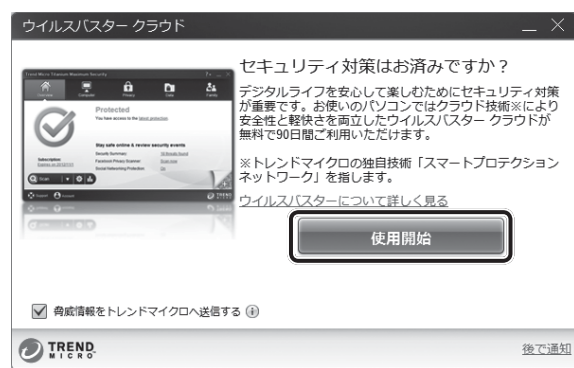
インストール手順

1 スタート画面の［デスクトップ］をクリックする

デスクトップ画面が表示されます。

2 ［ウイルスバスターの登録］アイコン（ ）をダブルクリックする

［セキュリティ対策はお済みですか？］画面が表示されます。

3 ［使用開始］をクリックする

4 ［同意する］をクリックする

以降は、画面に従って操作してください。メールアドレスは登録しなくても使用できます。

ヘルプの起動

ヘルプを見るためには、インターネットに接続する必要があります。

1 **スタート画面の［デスクトップ］をクリックする**

デスクトップ画面が表示されます。

2 **通知領域の［ウイルスバスター］アイコン（ ）をダブルクリックする**

＊通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

［ウイルスバスター］画面が表示されます。

3 **［ウイルスバスター］画面で［ヘルプ］ボタン（ ?▾ ）をクリックし①、表示されたメニューから［オンラインヘルプ］をクリックする②**

（表示例）

［オンラインヘルプ］画面が表示されます。

参照 「ウイルスバスター」のお問い合わせ先「5章 4 - 2 アプリケーションのお問い合わせ先」

3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。ニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。
有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター6.0」を使用することをおすすめします。

1 i-フィルター6.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター6.0」が用意されています。「i-フィルター6.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い 使用期限について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 5 「i-フィルター6.0」について」

「i-フィルター6.0」の使いかたについては、『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 5 - 1 i-フィルター6.0を使う』をご確認ください。

3章

パソコンの使用環境を整えよう

この章では、接続できる周辺機器、ワイヤレスマウスを使用するための準備、充電や充電量の確認などバッテリーの取り扱い方法などについて説明しています。

1 周辺機器を使う前に

周辺機器とは、パソコンに接続して使う機器のことで、デバイスともいいます。周辺機器を使うと、パソコンの性能を高めたり、パソコンが持っていない機能を追加することができます。
周辺機器は、パソコン本体の周囲にあるコネクタや端子につなぎます。
本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。
周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なることがあります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子の形状などの規格のことです。
購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。
周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。

お願い **周辺機器の取り付け／取りはずしにあたって**

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 6 - パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて」

次の周辺機器が使用できます。

- テレビ
- 外部ディスプレイ
- マイクロホン
- ヘッドセット
- ヘッドホン
- オーディオ機器
- USB対応機器（マウス、プリンター、USBフラッシュメモリなど）
- Bluetooth対応機器＊1（マウス、キーボードなど）

＊1 Bluetooth機能搭載モデルのみ

参照 『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 パソコンの機能を活用する』

ワイヤレスマウス付属モデルの場合、ワイヤレスマウスについては「本章 2 ワイヤレスマウスの準備」を参照してください。

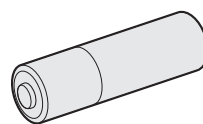
2 ワイヤレスマウスの準備

＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ

ワイヤレスマウス（ケーブル無しマウス）を使用するためには、次の準備が必要です。

1 ワイヤレスマウスの準備

ワイヤレスマウスと付属品は次のとおりです。

- ワイヤレスマウス
- マウスレシーバー＊[1]
- 乾電池１本

＊1 ワイヤレスマウス内に収納されています。

使用している乾電池が消耗すると、ワイヤレスマウスを操作できなくなります。電池交換が必要になると、ワイヤレスマウスの表側にあるバッテリーLEDが赤色に点滅します。その場合は、使用できる乾電池をお確かめのうえ購入いただき、それまで使用していた乾電池を取りはずしてから、新しい乾電池を取り付けてください。

＊付属の単３形乾電池は動作確認用です。単３形アルカリ乾電池の使用を推奨します。

⚠注 意

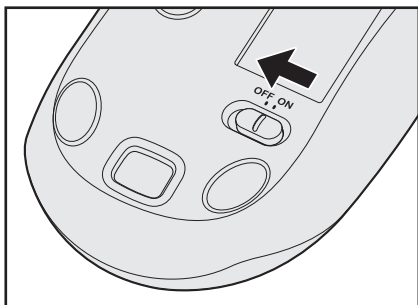
- **レーザーマウスは、不可視のレーザー光を使用した「クラス１レーザー製品」です。マウス底面のレーザー式センサー孔を直接のぞきこまないでください。**
  目を痛めるおそれがあります。
- **光学マウス底面の光学式センサー孔の赤色などの光を直接見ないでください。**
  目を痛めるおそれがあります。

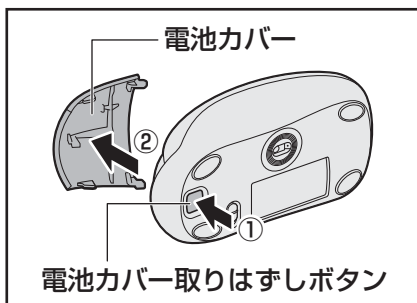
メモ

- ワイヤレスマウスを使用しないときは、ワイヤレスマウスの電源を切っておくことをおすすめします。

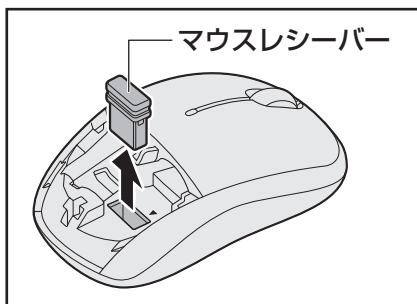
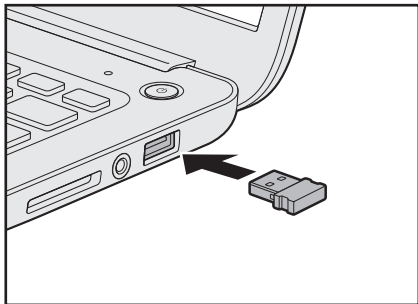
1 マウスレシーバーの取り出しとセット

ご購入時には、ワイヤレスマウス内に、ワイヤレスマウスからの操作を受信するマウスレシーバーが収納されています。ワイヤレスマウスからマウスレシーバーを取り出して、パソコン本体のUSBコネクタに差し込みます。

1 ワイヤレスマウスの裏側にある電源スイッチをOFF側にスライドする

2 ワイヤレスマウスの電池カバーを開ける

電池カバー取りはずしボタンを押すと①、電池カバーがはずれます②。

＊モデルによって、付属するマウスの形状が異なる場合があります。

3 マウスレシーバーを取り出す

ワイヤレスマウスからマウスレシーバーを取り出します。

4 マウスレシーバーをパソコン本体のUSBコネクタに差し込む

参照 「1章 2 各部の名称」

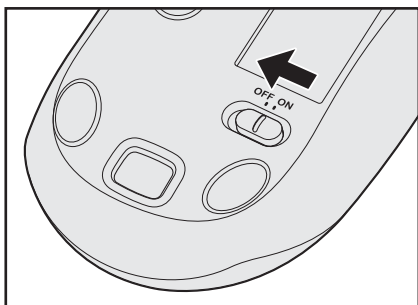
はじめてワイヤレスマウスを使用する場合は、「 2 ワイヤレスマウスの乾電池の取り付け／取りはずし」の手順 3 へ進んでください。

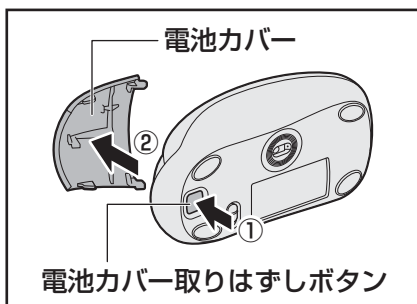
5 電池カバーを閉める

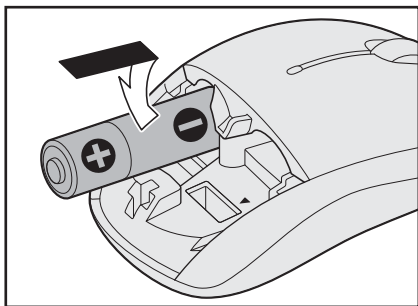
「カチッ」という音がするまで押してください。

2 ワイヤレスマウスの乾電池の取り付け／取りはずし

ワイヤレスマウスの乾電池の取り付け／取りはずし方法について説明します。

1 ワイヤレスマウスの裏側にある電源スイッチをOFF側にスライドする

2 ワイヤレスマウスの電池カバーを開ける

電池カバー取りはずしボタンを押すと①、電池カバーがはずれます②。

＊ モデルによって、付属するマウスの形状が異なる場合があります。

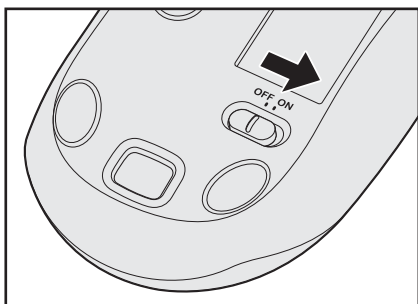
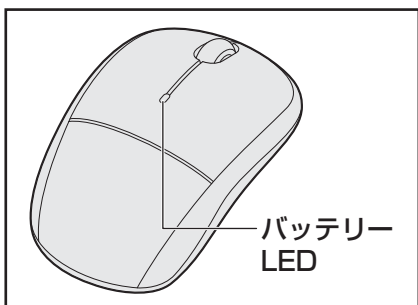
3 乾電池をセット／交換する

＋（プラス）、－（マイナス）をよく確認してセットしてください。

4 電池カバーを閉める

「カチッ」という音がするまで押してください。

3 ワイヤレスマウスの電源を入れる

乾電池をセットしたら、ワイヤレスマウスの電源を入れてください。

1 ワイヤレスマウスの裏側にある電源スイッチをON側にスライドする

電源を入れると、ワイヤレスマウスの表側にあるバッテリーLEDが約10秒間緑色に点灯します。電池交換が必要になると赤色に点滅します。

参照 ワイヤレスマウスの使いかた
『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 4 - 1 マウスの操作方法』

メモ

- ワイヤレスマウスがパソコン本体から離れ過ぎると、操作できない場合があります。

3 バッテリーについて

本製品には、バッテリーパックが内蔵されています。
本製品を初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。
バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動（電源コードとACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。
バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめバッテリーパックの充電を完了（フル充電）させてください。
指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意をお願いします。
『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危 険

- **本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する**
  寿命などで交換する場合は、東芝PCあんしんサポートに依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い バッテリーを使用するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

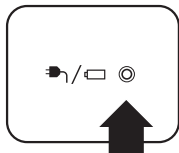
参照 「付録 1 - 7 バッテリーについて」

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 システムインジケーターで確認する

電源コードとACアダプターを接続している場合、DC IN/Battery / LEDが点灯します。

<左側面>

DC IN/Battery / LEDは次の状態を示しています。

白色の点灯	充電完了
オレンジ色の点灯	充電中
オレンジ色の点滅	充電が必要 参照 バッテリーの充電について「本節 2 バッテリーを充電する」
消灯	電源コードとACアダプターが接続されていない 電源コードとACアダプターを接続していても消灯している場合は、バッテリー異常の可能性があります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

2 通知領域の［バッテリー］アイコンで確認する

通知領域の［バッテリー］アイコン（ または ）の上にポインターを置くと、バッテリー充電量が表示されます。
［バッテリー］アイコン（ または ）をクリックすると、電源プランなども表示されます。

残り: 5 時間 56 分 (79%)
10:55
2012/07/29

参照 省電力設定（電源プラン）について
『パソコンで見るマニュアル 便利編 2章 2「電源オプション」で省電力の設定をする』

3 バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量が少なくなると、次のように警告します。

- DC IN/Battery / LEDがオレンジ色に点滅する（バッテリーの残量が少ないことを示しています）
- バッテリーのアラームが動作する
  「電源オプション」で［プラン設定の変更］→［詳細な電源設定の変更］をクリックして表示される［詳細設定］タブの［バッテリ］→［低残量バッテリの通知］や［低残量バッテリの動作］で設定すると、バッテリーの残量が少なくなったことを通知したり、自動的に対処する動作を行います。

参照 省電力設定（電源オプション）について
『パソコンで見るマニュアル 便利編 2章 2「電源オプション」で省電力の設定をする』

上記のような警告が起こった場合はただちにパソコン本体に電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。

購入時は休止状態が設定されています。バッテリー減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源が切れます。

メモ

- 1ヵ月以上の長期にわたり、電源コードとACアダプターを接続したままパソコンを使用してバッテリー駆動を行わないと、バッテリー充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリー充電量が減少したときは、DC IN/Battery / LEDや［バッテリー］アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に1度は再充電することを推奨します。
- 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、DC IN/Battery / LEDでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

4 時計用バッテリー

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックのほかに、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。
時計用バッテリーの充電は、電源コードとACアダプターを接続し電源を入れているとき（電源ON時）に行われますので、普通に使用しているときは意識する必要はありません。ただし、充電量が少ない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。
時計用バッテリーが不足すると、メッセージが表示されます。

■充電完了までの時間

時計用バッテリーは、電源ON（Power LEDが白色に点灯）の状態にしておくと約24時間で充電が完了します。
時計用バッテリー充電中でもパソコンを使用できます。充電中に充電状態を知ることはできません。

2 バッテリーを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

お願い バッテリーを充電するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 7 -バッテリーを充電するにあたって」

1 充電方法

1 パソコン本体にACアダプターを接続し、電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む

DC IN/Battery / LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
電源のON／OFFにかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 DC IN/Battery / LEDが白色になるまで充電する

バッテリーの充電中はDC IN/Battery / LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN/Battery / LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。
電源コード、ACアダプターの接続を確認してください。

メモ

- パソコン本体を長時間ご使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

■充電完了までの時間

バッテリー充電時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。周囲の温度が低いとき、バッテリーパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けているとき、アプリケーションを使用しているときは、充電完了まで時間がかかることがあります。
詳しくは、『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。
詳しくは、『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■バッテリー駆動時の処理速度

高度な処理を要するソフトウェア（3Dグラフィックス使用など）を使用する場合は、十分な性能を発揮するために電源コードとACアダプターを接続してご使用ください。

■使っていないときの充電保持時間

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。
バッテリーの保持時間は、放置環境などによって異なります。
スリープを実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリー駆動時は休止状態、またはハイブリッド スリープにすることをおすすめします。

参照 ハイブリッド スリープについて『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 5 - 2 スリープ』

メモ

- バッテリーパックは消耗品です。使いかたを工夫することで長持ちさせることができます。

  参照 詳細について『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 9 - 1 バッテリーを長持ちさせる』

  バッテリーパックの交換は、有料になります。

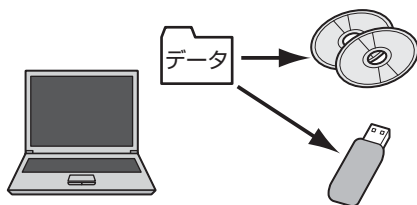
4章

買ったときの状態に戻すには
－リカバリー－

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリー」について説明しています。リカバリーを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

1 バックアップをとる（Windowsが起動しないとき）

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、パソコンのトラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

＊本製品でCD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。

参照 バックアップの説明や操作方法の詳細
『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 6 バックアップをとる』

ここでは、Windowsが起動しない状態でのバックアップ方法について説明します。

お願い バックアップをとるにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 8 バックアップについて」

1 東芝ファイルレスキューについて

「東芝ファイルレスキュー」を使うと、Windowsが起動しなくても、データのバックアップ＝救助（レスキュー）をすることができます。
Windowsが起動せず、リカバリーをしなくてはならない場合などは、「東芝ファイルレスキュー」を使って、あらかじめデータを救助しておいてください。

お願い データを救助するにあたって

- パソコンを人に譲るときなどに、SSDの内容をすべて消去すると、「システム回復オプション」は消去され、「東芝ファイルレスキュー」は使用できなくなります。
- **その他の注意事項については、あらかじめ、次の説明を確認してください。**

参照 「付録 1 - 9 「東芝ファイルレスキュー」について」

データの救助用に使用できる記録メディア

「東芝ファイルレスキュー」では、記録メディアにデータの救助を行います。使用できる記録メディアは、次のとおりです。

- USB接続型などの外付けハードディスクドライブ
- USBフラッシュメモリ

■外付けのCD／DVD／ブルーレイディスクドライブを接続した場合

＊書き込み可能な市販品をご使用ください。
＊ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

- CD／DVD

1 データを救助する

1 データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 6-1 電源を切る」

システムが操作できなくなり、チャームの［設定］画面から電源を切ることができない場合は、電源スイッチを５秒以上押すと、強制的に電源を切る（強制終了）ことができます。

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 救助するデータの保存先となる記録メディアをパソコンにセットする

USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USB対応機器の場合
『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 7-2 USB対応機器の取り付け／取りはずし』

参照 外付けのCD／DVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『CD／DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

4 電源スイッチを押し、すぐに0（ゼロ）キー（かな入力のわキー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

［キーボード レイアウトの選択］画面が表示された場合は、手順5に進んでください。
［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順6に進んでください。

5 ［Microsoft IME］をクリックする

［オプションの選択］画面が表示されます。

6 ［トラブルシューティング］を選択する

［トラブルシューティング］画面が表示されます。

7 ［TOSHIBA Maintenance Utility］を選択する

「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順 8 に進んでください。
ツールの選択画面が表示された場合は、手順 9 に進んでください。

8 ［Windows 8］をクリックする

ツールの選択画面が表示されます。

9 ［TOSHIBA File Rescue］を選択し①、［次へ］ボタンをクリックする②

（表示例）

「東芝ファイルレスキュー」が起動します。

10 「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し、同意される場合は、［はい、同意します。］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

同意しないと、操作を先に進めることはできません。

11 救助するデータを確認し、［次へ］ボタンをクリックする

- 何もしないで［次へ］ボタンをクリックすると、すべてのユーザーのユーザーデータを救助します。
  ユーザーデータとは、［コンピューター］-ドライブ（C:）-［ユーザー］内の各ユーザー名のフォルダーに保存されるファイルやフォルダーです。「ユーザー名」フォルダーにはアドレス帳やお気に入りなどのデータが保存されています。ユーザーデータの内容は、［救助データの一覧］で確認してください。
- 救助するファイルやフォルダーを、任意に指定したい場合は、「役立つ操作集」を参照してください。

役立つ操作集

「救助するファイルやフォルダーを任意に指定したい場合」

救助するファイルやフォルダーを任意に指定するには、次のように操作してください。
① 手順 11 で、［任意のファイルやフォルダーを手動で指定する］にチェックを付け、［次へ］ボタンをクリックする
② 救助したいファイルやフォルダーにチェックを付け、［次へ］ボタンをクリックする
以降は、手順 12 から操作してください。

救助するデータの大きさを計算している画面が表示される場合があります。
計算が完了すると、救助するデータの保存先を指定する画面が表示されます。

12 救助データの保存先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする

外付けハードディスクドライブまたはUSBフラッシュメモリの容量が足りない場合や、記録メディアを何もセットしていない場合などは、赤い字でメッセージが表示されます。
メッセージに従って、適切な記録メディアを選択してください。
救助データの確認画面が表示されます。

13 救助するデータと保存先を確認し、［実行］ボタンをクリックする

データの救助を開始するメッセージが表示されます。

14 ［OK］ボタンをクリックする

データの救助の進捗状況を示す画面が表示されます。救助には、長時間かかることがあります。必ず電源コードとACアダプターを接続した状態でご利用ください。
救助中は保存先の記録メディアを取りはずさないでください。
データの救助が完了すると、完了画面が表示されます。

15 必要に応じて［救助結果］ボタンや［復元手順］ボタンをクリックし、最後に［完了］ボタンをクリックする

- ［救助結果］ボタンをクリックすると、ファイル単位で救助の結果を表示します。このとき、ファイルが壊れているなどの理由で救助できなかったデータがあると、そのファイル名の左に赤い「×」が表示されます。
- ［復元手順］ボタンをクリックすると、救助データを復元する手順を表示します。

［完了］ボタンをクリックすると、電源が切れます。
引き続き、リカバリーを行う場合は「本章 2 パソコンを初期状態に戻すために」以降を参照してください。
標準ユーザーのアカウントでデータを復元するときは管理者ユーザーの認証が必要になりますので、リカバリーをしたあとは、必ずWindowsセットアップでWindowsパスワードを設定してください。

参照 Windowsセットアップ「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

2 救助したデータを復元する

「東芝ファイルレスキュー」で救助したデータの復元方法は、次のとおりです。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

このとき、データを復元したいユーザーアカウントでサインインしてください。

2 データを保存した記録メディアをパソコンにセットする

3 スタート画面の［デスクトップ］をクリックする

デスクトップ画面が表示されます。

4 タスクバーの［エクスプローラー］アイコン（ ）をクリックする

「エクスプローラー」が起動します。

5 画面左側の［コンピューター］をクリックし、記録メディアのドライブのアイコンをダブルクリックする

6 「TFRescue」ファイルをダブルクリックする

標準ユーザーのアカウントで復元プログラムを実行するときは、管理者ユーザーの認証が必要です。
セットした記録メディアに、救助したファイルが複数存在する場合は、手順 7 に進んでください。
救助したファイルが1つの場合は、手順 8 に進んでください。

7 復元するファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックする

ファイルの名称は、「Tsal」のあとが、年号／月日／時分秒を示す数字となっています。これは、救助を行った日時ですので、よく確認して復元したいファイルを選択してください。
［ようこそ］画面が表示されます。

8 「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し、同意される場合は、［はい、同意します。］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

同意しないと、操作を先に進めることはできません。
復元データを指定する画面が表示された場合は手順 9 に進んでください。
復元データを確認する画面が表示された場合は手順 10 に進んでください。

9 復元したいユーザーデータを選択し、［次へ］ボタンをクリックする

復元データの確認画面が表示されます。

10 復元するデータを確認し、［実行］ボタンをクリックする

メッセージが表示されます。

11 ［OK］ボタンをクリックする

データ復元の進捗状況を示す画面が表示されます。
復元が完了すると、データ復元完了の画面が表示されます。

12 必要に応じて［復元結果］ボタンをクリックし、最後に［完了］ボタンをクリックする

［復元結果］ボタンをクリックすると、ファイル単位で復元結果を表示します。
パソコンのSSD内のどこに復元されたかを確認することができます。

メモ　復元データ

- 復元データと同じファイルが復元先にある場合、復元データのファイル名の先頭に「_（アンダーバー）」が付きます。
- ユーザーデータ以外の任意のファイルやフォルダーを救助して復元した場合、次の場所に保存されます。
  - ・救助時にドライブ（C:）に保存されていたデータ：
    「C:¥ユーザー¥［ユーザー名のフォルダー］¥C」の中

2 パソコンを初期状態に戻すために
−リカバリーとは−

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。SSD内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- SSDにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない＊1
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

＊1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。
リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。

メモ

- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『パソコンで見るマニュアル 活用編 2章 1-2 ユーザーパスワード』

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、スタート画面のタイルのない部分で右クリック→［すべてのアプリ］→［アプリケーションの再インストール］から再インストールを行うことをおすすめします。

参照 「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも解消できない場合にリカバリーを行ってください。

1 パソコンを初期状態に戻す前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリーをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリーを実行してください。

ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。
場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリーを実行してください。

参照 ウイルスチェックソフト「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再起動して、動作を確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

参照 機器の取りはずし「3章 パソコンの使用環境を整えよう」
『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 パソコンの機能を活用する』

ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「5章 1 トラブルを解消するまでの流れ」、「5章 2 Q&A集」を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも解消できないときに、リカバリーをしてください。

「システムの復元」で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。
詳しくは、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

2 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

バックアップをとる
参照 「本章 1 バックアップをとる」『パソコンで見るマニュアル』

▼

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windowsセットアップまで行います）

初期状態に戻す
参照 「本章 3 パソコンを初期状態に戻す」

▼

Windowsのセットアップ
参照 「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

▼

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続
参照 「3章 パソコンの使用環境を整えよう」『パソコンで見るマニュアル』『各機器に付属の説明書』

▼

インターネットやメールの設定
参照 「2章 1 インターネットを使うには」『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章』

▼

ウイルス対策ソフトの設定と更新
参照 「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

▼

Windows Update
参照 『パソコンで見るマニュアル 基本編 2章 3 - 2 Windowsを最新の状態にする』

▼

データの復元
参照 「本章 4 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

3 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『dynabookガイド』（本書）
- 巻末のリカバリーチェックシートをコピーしたもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）（DVDのリカバリーメディアからリカバリーする場合）
  ＊ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、SSDに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊本製品でCD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

- ［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- 「Internet Explorer」の［お気に入り］のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

また、リカバリー後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
ただし、SSDをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、SSDに保存されていたデータは復元できません。

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳のバックアップについて
『メールソフトに付属の説明書』

参照 その他のデータのバックアップについて
『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 6 バックアップをとる』

■システムが起動しない場合

「東芝ファイルレスキュー」を使って、データのバックアップができる場合があります。

参照 東芝ファイルレスキュー「本章 1 - 1 東芝ファイルレスキューについて」

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。
また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。
ONになっていない場合は、FN＋F12キーを押して、［機内モード オフ］にしてください。

周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器やLANケーブルは取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし「3章 パソコンの使用環境を整えよう」
『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 パソコンの機能を活用する』

3 パソコンを初期状態に戻す －リカバリー－

本製品をリカバリーする方法について説明します。
リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

1 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- SSDからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はSSDからリカバリーをしてください。
リカバリーメディアからのリカバリーは、SSDのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、SSDからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成
『パソコンで見るマニュアル 便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

2 SSDからパソコンを初期状態に戻す

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- ［キャンセル］ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、［オプションの選択］画面が表示されるまで ボタンをクリックし、［PCの電源を切る］ボタンをクリックしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、［キャンセル］ボタンが表示されるまで操作を進めてから［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

1 データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 電源スイッチを押し、すぐに 0 （ゼロ）キー（かな入力の わ キー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENTER キーを押してください。

［キーボード レイアウトの選択］画面が表示された場合は、手順 4 に進んでください。
［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。

4 ［Microsoft IME］をクリックする

［オプションの選択］画面が表示されます。

5 ［トラブルシューティング］をクリックする

［トラブルシューティング］画面が表示されます。

6 ［PCを初期状態に戻す］をクリックする

「この操作を行うと：」と表示されます。

7 ［次へ］ボタンをクリックする

「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順 8 に進んでください。
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順 9 に進んでください。

8 ［Windows 8］をクリックする

「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。

9 ［ドライブを完全にクリーンアップする］をクリックする

「すべて準備できました」と表示されます。

10 ［初期状態に戻す］ボタンをクリックする

画面下部に「PCを初期状態に戻しています」と表示され、進行状況がパーセントで表示されます。この間、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

以降は画面に従って操作してください。

11 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成
『パソコンで見るマニュアル 便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

DVDのリカバリーメディアでリカバリーをする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

＊ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

メモ

- 操作の途中で［キャンセル］ボタンをクリックすると、以降リカバリーメニューが表示されなくなります。

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリの場合
『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 7 - 2 USB対応機器の取り付け／取りはずし』

参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

3 データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

4 電源スイッチを押し、すぐにF12キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

5 **[↑]または[↓]キーで起動ドライブを選択する**

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD］など)、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory］など）を選択し、[ENTER]キーを押してください。

■表示言語を選択する画面が表示された場合

［日本語］を選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

6 **［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②**

（表示例）

警告メッセージ画面が表示されます。

7 **画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする**

（表示例）

［復元方法の選択］画面が表示されます。

8 **［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②**

（表示例）

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「5章 3 - 2 SSDの内容をすべて消去する」

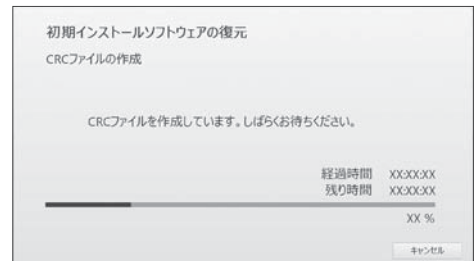
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

（表示例）

9 ［次へ］ボタンをクリックする

［次へ］ボタンをクリックすると、復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。

（表示例）

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
復元中は、次の画面が表示されます。リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

（表示例）　（表示例）

＊最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、［OK］ボタンをクリックしてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

10 リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■DVDの場合

①［終了］ボタンをクリックする
　自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
②リカバリーメディアを取り出す

■USBフラッシュメモリの場合

①USBフラッシュメモリを取りはずす
②［終了］ボタンをクリックする

［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
ここから次の手順の［ライセンス条項］画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

11 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

4 パソコンを初期状態に戻したあとは

購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。
その他必要に応じて、インターネットやメールの再設定、ウイルスチェックソフトの設定や更新などが必要です。

参照 詳細について「本章 2 - 2 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

メモ

- Office搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

  参照 詳細について「はじめに - 12 「Office」のライセンス認証について」

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

  参照 詳細について「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

■インターネット接続の設定情報

インターネット接続の設定情報は、データのバックアップがとれません。
プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で設定情報を控えておいたメモなどを元に、もう一度設定し直してください。

■MS-IMEで登録した単語

日本語入力システムMS-IMEの「ユーザー辞書ツール」で登録したユーザー辞書データをバックアップすることができます。
詳しくは「ユーザー辞書ツール」のヘルプを確認してください。

- **ヘルプの起動方法**
  ①スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
  デスクトップ画面が表示されます。
  ②通知領域のIMEのアイコン（ あ ）*1を右クリックし、表示されたメニューから［ユーザー辞書ツール］をクリックする
  ③表示された画面で［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする
  ＊1 選択している入力モードによって、表示されるアイコンが異なります。

■［ドキュメント］、［お気に入り］のデータや、その他のファイルやフォルダーなど

- ［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- 「Internet Explorer」の［お気に入り］のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳の復元について『メールソフトに付属の説明書』

参照 その他のデータの復元について
『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 6 - 1 ファイルやフォルダーのバックアップをとる』

「東芝ファイルレスキュー」など、アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

参照 東芝ファイルレスキューでのデータの復元「本章 1 - 1 - 2 救助したデータを復元する」

5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

参照 アプリケーションの削除
『パソコンで見るマニュアル 便利編 6章 2 アプリケーションの削除』

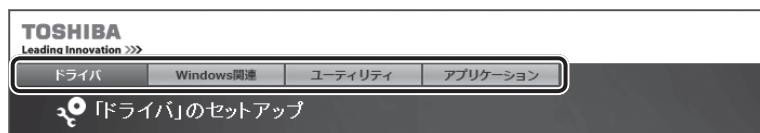
1 操作手順

1 スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする

2 ［すべてのアプリ］をクリックする

3 ［ アプリケーションの再インストール］をクリックする

4 ［セットアップ画面へ］をクリックする

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

（表示例）

初めて起動したときは、［ドライバー］タブが表示されています。タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

5 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の［「XXX」のセットアップ］をクリックする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をクリックしてください。

6 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

メモ

- ［アプリケーションの再インストール］にないアプリケーションは、Windowsストアからダウンロードできる場合があります。

5章

困ったときは

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。
また、パソコン本体を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

1 トラブルを解消するまでの流れ

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」では、パソコンの電源が入らないなど、『パソコンで見るマニュアル』を見られない状況で発生したトラブルの解決方法を説明しています。同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

参照 「本章 2 Q&A集」

STEP2『パソコンで見るマニュアル』の「困ったときは」から探す

『パソコンで見るマニュアル』の「困ったときは」でも、トラブルが発生した場合の解決方法を説明しています。本書の「Q&A集」では紹介していない、さまざまなQ&Aについても説明しています。確認してみてください。

- 『パソコンで見るマニュアル』の「困ったときは」の起動方法
  スタート画面の［デスクトップ］をクリックし、［パソコンで見るマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリックして起動してから［困ったときは］をクリックしてください。

STEP3「困ったときは」以外から探す

- **『パソコンで見るマニュアル』を検索してみる**

トラブルの解決方法を「困ったときは」から探せないときは『パソコンで見るマニュアル』をキーワード検索してみるのも一つの方法です。

- 『パソコンで見るマニュアル』の検索方法
  スタート画面の［デスクトップ］をクリックし、［パソコンで見るマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリックして起動します。関係ありそうな編を起動し、 をクリックしてください。検索ウィンドウが表示されます。

参照 検索方法の詳細について「1章 7 - 2 - パソコンで見るマニュアル」

- **「おたすけナビ」で探してみる**

「おたすけナビ」を使うと、本製品に用意されているアプリケーションの中から、目的にあったアプリケーションを探し出すことができます。また、アプリケーションのヘルプやマニュアルを表示することもできます。

「おたすけナビ」の詳細は、「おたすけナビ」のヘルプをご覧ください。

- 「おたすけナビ」の起動方法
  ①スタート画面のタイルのない部分で、右クリックする
  ②［すべてのアプリ］をクリックする
  ③［ おたすけナビ］をクリックする
- 「おたすけナビ」のヘルプの起動方法
  ［おたすけナビ］画面で［ヘルプ］をクリックします。

参照 「1章 7 - 2 - おたすけナビ」

STEP4 サポートのサイトで調べる

インターネットに接続している場合は、次のサポートサイトをご覧ください。

- **「あなたのdynabook.com」**
本製品独自のサポートサイト「あなたのdynabook.com」には、ご利用のパソコンの「よくある質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などが掲載されています。ご利用のパソコンに関する情報だけが表示されるので、目的の情報を簡単に探すことができます。
また、サポート窓口や修理についても案内しています。
- **「dynabook.com」**
東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。

参照 「あなたのdynabook.com」「dynabook.com」について
『東芝PCサポートのご案内』

サポートサイトの説明を読んでもトラブルが解決しない場合は、お問い合わせ専用フォームから質問メールを出すこともできます。

STEP5 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- **パソコン本体のトラブルの場合**
『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- **OSやアプリケーションのトラブルの場合**
本製品に用意されているOS、アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 OSやアプリケーションのお問い合わせ先「本章 4 お問い合わせ先」

- **周辺機器のトラブルの場合**
各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先 『周辺機器に付属の説明書』

2 Q&A集

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『パソコンで見るマニュアル』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『パソコンで見るマニュアル』も参照してください。

役立つ操作集

『パソコンで見るマニュアル』のQ&Aを見てみよう

本書のQ&A集を見ても知りたいことが見つからない場合は、パソコンで『パソコンで見るマニュアル』のQ&Aを見てみましょう。
インターネットに接続しなくても閲覧できるため、操作も簡単です。

① スタート画面の［デスクトップ］をクリックし、［パソコンで見るマニュアル］アイコン（）をダブルクリックする
『パソコンで見るマニュアル』が起動します。

② ［困ったときは］をクリックする
2章に［Q&A］の一覧が表示されます。

③ しおりから知りたい項目をクリックする

5章 困ったときは

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

A パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

①電源コードとACアダプターを取りはずす
　パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
　電源コードとACアダプターを取りはずして、そのままの状態で、しばらく放置してください。
②電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
③電源スイッチを押し、指をはなす
　確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

参照 電源コードとACアダプターの接続
「1章 4 - 1 - 2 電源コードとACアダプターを接続する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q　電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをSSD以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

システムが入っている記録メディアと取り換えるか、またはドライブから記録メディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

①電源スイッチを５秒以上押して電源を切る
②電源スイッチを押し、すぐに F12 キーを数回押す
　各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENTER キーを押してください。
③表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はSSDを示す項目）を ↑ ↓ キーで選択し、 ENTER キーを押す

Q　使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）

Q　しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが白色に点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFT キーを押すか、タッチパッドを操作すると表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

①スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
デスクトップ画面が表示されます。
②［デスクトップアプリメニュー］アイコン（ ）をダブルクリックする
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。
③［コントロールパネル］をクリックする
④［ システムとセキュリティ］→［ 電源オプション］をクリックする
⑤利用する電源プランを選択し、［プラン設定の変更］をクリックする
⑥［ディスプレイの電源を切る］および［コンピューターをスリープ状態にする］で［適用しない］を選択する
［バッテリ駆動］と［電源に接続］にそれぞれ設定してください。
⑦［変更の保存］ボタンをクリックする

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを５秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFT キーを押すか、タッチパッドを操作すると表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、パソコンをスリープや休止状態から復帰したとき、本体液晶ディスプレイに何も表示されない

A テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。パソコン画面が表示されていた場合は、『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 2-2 パソコンの画面をテレビや外部ディスプレイに映す』を参照して、本体液晶ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった

A テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。
テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A FN＋F3キーを押して、本体液晶ディスプレイ（画面）を明るくしてください＊1。

FN＋F2キーを押すと、逆に、本体液晶ディスプレイは暗くなります。

＊1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「電源オプション」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。
詳しくは、「電源オプション」のヘルプを参照してください。
次の手順で設定を変更してください。＊1

①スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
デスクトップ画面が表示されます。
②［デスクトップアプリメニュー］アイコン（ ）をダブルクリックする
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。
③［コントロールパネル］をクリックする
④［ システムとセキュリティ］→［ 電源オプション］をクリックする
⑤利用する電源プランを選択し、［プラン設定の変更］をクリックする
⑥［プランの明るさを調整］を設定する
［バッテリ駆動］と［電源に接続］をそれぞれ設定してください。
⑦［変更の保存］ボタンをクリックする

＊1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

Q 画面表示が回転してしまった

A 画面の設定が変更されている可能性があります。

次の手順で元に戻すことができます。

①スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
デスクトップ画面が表示されます。
②デスクトップ画面上のウィンドウやアイコンなどが表示されていない場所にポインターを移動し、右クリックする
③表示されたメニューから［画面の解像度］をクリックする
④［向き］で表示したい方向を選択する
⑤［OK］ボタンをクリックする
⑥［変更を維持する］ボタンをクリックする

3 システム／SSD

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照 再起動「1章 6 - 1 - 再起動」

A Windows起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを５秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール
『パソコンで見るマニュアル 便利編 6章 2 アプリケーションの削除』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 タッチパネル

＊タッチ操作対応モデルのみ

Q 画面にタッチしても反応しない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A 画面に異物が付着している可能性があります。

保護フィルムを貼っている場合は、フィルムをはがしてください。

A つめの先では操作できません。

指で操作してください。

A 手袋を着けたままでは操作できません。

手袋をはずして操作してください。

A 指が汗や水でぬれている状態では操作できません。

水分をふき取ってから操作してください。

Q　ダブルタップがうまくいかないので、速度を変更したい

A 次の手順で、ダブルタップの速度を調節してください。

①スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
　デスクトップ画面が表示されます。
②［デスクトップアプリメニュー］アイコン（ ）をダブルクリックする
　「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。
③［コントロールパネル］をクリックする
④［ ハードウェアとサウンド］→［ タッチ入力設定の変更］をクリックする
　［ペンとタッチ］画面が表示されます。
⑤［ダブルタップ］を選択し、［設定］ボタンをクリックする
　［ダブルタップの設定］画面が表示されます。
⑥［スピード］のスライダーバーを左右にドラッグする
⑦［OK］ボタンをクリックする
⑧［OK］ボタンをクリックする

5 キーボード

Q　ポインターが輪の形をしている間にキーを押しても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q　キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう

A 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触れると、カーソルがとんだり、アクティブウィンドウが切り替わってしまうことがあります。

FN＋F5キーを押してタッチパッドを無効に切り替えてください。

Q　キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。

もし、液体がパソコン内部に入ったときは、ただちに電源を切り、電源コードとACアダプターを取りはずして、東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

6 タッチパッド／マウス

＊マウスは、モデルによって別売りです。

Q ワイヤレスマウス（ケーブル無しマウス）の バッテリーLEDが赤色に点滅した

A ワイヤレスマウスの電池の残量が少なくなっています。

＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ

乾電池を交換してください。

参照 「3章 2 - 1 ワイヤレスマウスの準備」

Q クリックしても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A ワイヤレスマウスの電池の残量が少なくなっています。

＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ

乾電池を交換してください。

参照 「3章 2 - 1 ワイヤレスマウスの準備」

A マウスレシーバーがはずれている可能性があります。

＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ

パソコン本体のUSBコネクタからマウスレシーバーがはずれている場合は、取り付けてください。

参照 「3章 2 - 1 ワイヤレスマウスの準備」

A ワイヤレスマウスの電源が入っていない可能性があります。

＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ

マウス裏面の電源スイッチをON側にしてください。

参照 「3章 2 - 1 ワイヤレスマウスの準備」

A マウスレシーバーがUSBハブに接続されている場合、正しく認識されないことがあります。

＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ

マウスレシーバーをパソコン本体のUSBコネクタに直接接続してください。

A ワイヤレスマウスをマウスレシーバーに近づけて使用してください。
＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ
金属がワイヤレスマウスとマウスレシーバーの間にあったり、机がスチールデスクだったりすると、ワイヤレスマウスの感度が著しく低下する場合があります。

A 有線マウスが正しく接続されていない可能性があります。
＊有線マウスを使用している場合
有線マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、有線マウスの操作はできません。有線マウスのプラグを正しく接続してください。

A タッチパッドのみ操作を受け付けない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。
FN＋F5キーを押してタッチパッドを有効に切り替えてください。

Q ダブルクリックがうまくいかないので、速度を変更したい

A 次の手順で、ダブルクリックの速度を調節してください。
①スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
デスクトップ画面が表示されます。
②［デスクトップアプリメニュー］アイコン（ ）をダブルクリックする
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。
③［コントロールパネル］をクリックする
④［ ハードウェアとサウンド］→［ マウス］をクリックする
［マウスのプロパティ］画面が表示されます。
⑤［ボタン］タブで［ダブルクリックの速さ］のスライダーバーを左右にドラッグする
⑥［OK］ボタンをクリックする

Q ポインターの速度を調節したい

A 次の手順でポインターの速度を変更してください。
①スタート画面の［デスクトップ］をクリックする
デスクトップ画面が表示されます。
②［デスクトップアプリメニュー］アイコン（ ）をダブルクリックする
「東芝デスクトップアプリメニュー」が起動します。
③［コントロールパネル］をクリックする
④［ ハードウェアとサウンド］→［ マウス］をクリックする
［マウスのプロパティ］画面が表示されます。
⑤［ポインター オプション］タブで［速度］のスライダーバーを左右にドラッグする
⑥［OK］ボタンをクリックする

Q　レーザーマウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、鏡など）

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

Q　光学式マウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。
光学式マウスに対応したマウスパッドの使用を推奨します。
光学式マウスに対応していないものやマウスパッドの模様によっては、正常に動作しない場合があります。

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

7 メッセージ

Q 「Password =」と表示された

A 「東芝パスワードユーティリティ」またはBIOSセットアップで設定したパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際､身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「HDD/SSD Password =」と表示された

A BIOSセットアップで設定したHDDパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

HDDパスワードを忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなり、交換対応となります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。交換対応は有料です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 起動時に「RTC battery is low Check system. Then press [F2] key.」と表示され、Windowsが起動しない

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、電源コードとACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて「3章 3 - 1 - 4 時計用バッテリー」

電源コードとACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

① F2キーを押す
　BIOSセットアップ画面が表示されます。
② ↑ ↓キーを使って、[System Time]を選択し、TABキーを使って、時間、分、秒を選択後、F6、F7キーで時刻を設定する
③ ↑ ↓キーを使って、[System Date]を選択し、TABキーを使って、月、日、年を選択後、F6、F7キーで日付を設定する
④ F10キーを押す
　確認のメッセージが表示されます。
⑤ Yキーを押す
　設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。パソコンが再起動します。

メッセージが表示されたまま1分以上経過すると、自動的に電源が切れます。
電源スイッチを押し、すぐにF2キーを押して、BIOSセットアップを起動し、日付と時刻を設定してください。

Q 起動時に「Intel(R) AT system lock due to: Stolen Message Received …」というメッセージが表示された

A 「マカフィー・アンチセフト」によってパソコンがロックされました。

「マカフィー・アンチセフト」のセットアップ後、一定期間パソコンをインターネットに接続せず、アンチセフトサーバーと同期しなかった場合や、時計用バッテリーが不足した場合など、ロックの機能が動作して起動時にロック解除用のパスワードの入力が必要になる場合があります。
次の手順でパスワードを入力してください。

① 1 キーを押す
②「マカフィー・アンチセフト」で、ロック解除用に登録したパスワードを入力し、ENTER キーを押す

ロック解除用に登録したパスワードを忘れた場合は、マカフィー・テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。その際、登録したメールアドレスが必要となります。ロック解除用に登録したメールアドレスを忘れた場合、パソコンのロック解除ができません。

参照 マカフィー・テクニカルサポートセンター
(「マカフィーアンチセフト インストールウィザード」のお問い合わせ先)
「本章 4 - 2 アプリケーションのお問い合わせ先」

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について『Windows ヘルプとサポート』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A CD／DVDや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

8 その他

Q SSDからパソコンを初期状態に戻せなくなったときは

A **SSDに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。**

「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照 リカバリーの操作方法
「4章 3 - 3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 異常なにおいや過熱に気づいた！

A **パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認し、東芝PCあんしんサポートに相談してください。**

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブルを解消するまでの流れ」を確認してください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照 「本章 1 トラブルを解消するまでの流れ」

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 OSやアプリケーションのお問い合わせ先「本章 4 お問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

3 捨てるとき／人に譲るとき

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、SSDの内容を消去してください。

1 お客様登録の削除について

● **ホームページから削除する**

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

①インターネットで「http://toshibadirect.jp/room1048/」へ接続する

②ページ右の［ログイン］をクリックする

［ログイン］画面が表示されます。

③［東芝ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする

マイページが表示されます。

④ページ右下の［退会］をクリックする

※退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※Room1048を退会されますと、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● **電話で削除する**

「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局（お客様情報変更）

TEL　　　：0570-09-1048（ナビダイヤル）

受付時間 ：10:00～17:00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

またリサイクルに関しては、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

2 SSDの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、SSDに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

SSDの内容を削除するには、SSDの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。SSDの内容を削除すると、SSD内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステムやアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成
『パソコンで見るマニュアル 便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

■SSDの消去機能から行う方法

1 データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 電源スイッチを押し、すぐに0（ゼロ）キー（かな入力のわキー）を数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

［キーボード レイアウトの選択］画面が表示された場合は、手順 4 に進んでください。
［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。

4 ［Microsoft IME］をクリックする

［オプションの選択］画面が表示されます。

5 ［トラブルシューティング］を選択する

［トラブルシューティング］画面が表示されます。

6 ［TOSHIBA Maintenance Utility］を選択する

「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順 7 に進んでください。
ツールの選択画面が表示された場合は、手順 8 に進んでください。

7 ［Windows 8］をクリックする

ツールの選択画面が表示されます。

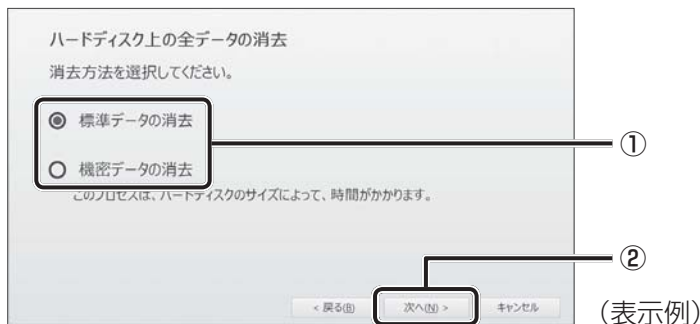
8 ［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

（表示例）

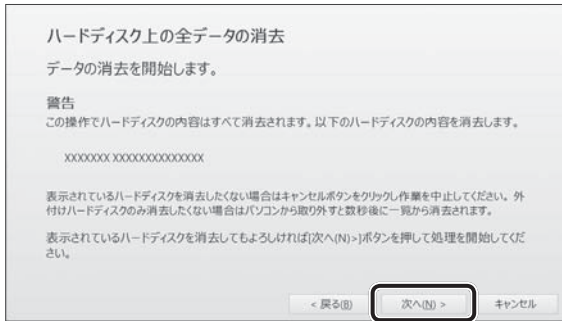
消去方法を選択する画面が表示されます。

9 目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

通常は［標準データの消去］を選択してください。データを読み取れなくなります。より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

（表示例）

［データの消去を開始します。］画面が表示されます。

10 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

（表示例）

［次へ］ボタンをクリックすると消去が実行され、消去中は次の画面が表示されます。

（表示例）

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

11 ［終了］ボタンをクリックする

■リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成
『パソコンで見るマニュアル 便利編 3章 1 リカバリーメディアを作る』

DVDのリカバリーメディアを使用する場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

＊ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリの場合
『パソコンで見るマニュアル 活用編 1章 7 - 2 USB対応機器の取り付け／取りはずし』

参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

3 データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 6 - 1 電源を切る」

4 電源スイッチを押し、すぐにF12キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

5 ↑または↓キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD］など)、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory］など）を選択し、ENTERキーを押してください。

■表示言語を選択する画面が表示された場合

［日本語］を選択し、［次へ］ボタンをクリックしてください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

6 [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

7 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

以降は、「本節 2 -SSDの消去機能から行う方法」の手順 8 以降を参照してください。

4 お問い合わせ先
－OS／アプリケーション－

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

＊2013年2月現在の内容です。
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

1 OSのお問い合わせ先

Windows 8に関する一般的なお問い合せ先は、東芝PCあんしんサポートになります。

Windows 8に関する一般的なサポート情報は、以下のホームページでもご確認いただくことができます。

http://support.microsoft.com

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。
用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

Excel 2013／OneNote 2013／Outlook 2013／PowerPoint 2013／Word 2013／楽しもうフォトウィザード

日本マイクロソフト株式会社 サポート受付窓口

●基本操作に関するお問い合わせ

<メール サポート>

以下の Web サイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。

ホームページ　：http://support.microsoft.com/oas/
受付時間　：24 時間いつでも受け付けています。

<電話サポート>

フリーダイヤル　：0120-54-2244
※下記番号へのお問い合わせの場合は通信費はお客様負担
東京　03-4332-5458　　大阪　06-6530-4231
※ご利用の際は、電話番号をお間違えないようご注意ください。
※音声ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って番号のご選択をお願いいたします。

受付時間　：月曜日～金曜日：9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00
土曜日：10:00 ～ 17:00
（祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除きます。日本マイクロソフト株式会社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記土曜日と同様の受付を行い、翌日の振替休日が休業となります。）

● **サポート有効期間**　：お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間（※）
※サポート ライフサイクル期間内

●ホームページ　：http://support.microsoft.com/select/

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Officeお使いになる前に』をご覧ください。

ウイルスバスター クラウド™ 90日版

ウイルスバスターサービスセンター

受付時間　：9:30～17:30
TEL　：0570-008326
03-6738-6062（IP電話・光電話からのお問い合わせ）
E-mail　：http://tmqa.jp/r924/
ホームページ　：http://tmqa.jp/toshiba/

5章 困ったときは

<table>
<tr><th colspan="2">マカフィーアンチセフト インストールウィザード</th></tr>
<tr><td colspan="2">マカフィー・テクニカルサポートセンター
（マカフィーアンチセフトに関する技術的な問い合わせ）</td></tr>
<tr><td>受付時間</td><td>：9:00～21:00（年中無休）</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>：0570-060-033（ナビダイヤル）
03-5428-2279（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td>：以下のWebフォームをご利用ください。
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_ts.asp</td></tr>
<tr><td>ホームページ</td><td>：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055</td></tr>
<tr><td colspan="2">マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（ユーザー登録や登録情報変更などの製品以外に関する問い合わせ）</td></tr>
<tr><td>受付時間</td><td>：月曜～金曜：9:00～17:00（年末年始、祝日を除く）</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>：0570-030-088（ナビダイヤル）
03-5428-1792（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td>：以下のWebフォームをご利用ください。
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_coc.asp</td></tr>
<tr><td>ホームページ</td><td>：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055</td></tr>
<tr><td colspan="2">マカフィー・インフォメーションセンター
（製品購入前の製品に関する問い合わせ、サイト評価に関する問い合わせ）</td></tr>
<tr><td>受付時間</td><td>：月曜～金曜：9:00～17:00（年末年始、祝日を除く）</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>：0570-010-220（ナビダイヤル）
03-5428-1899（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td>：以下のWebフォームをご利用ください。
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/msup/information_center.asp</td></tr>
<tr><td>ホームページ</td><td>：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055</td></tr>
<tr><td colspan="2">マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。</td></tr>
<tr><td>チャット</td><td>：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp</td></tr>
</table>

ATOK 2012 for Windows（60日間無償試用版）for TOSHIBA		
● 無償試用版の使い方に関するお問い合わせ		
ジャストシステム 期間限定版専用サポート		
受付時間	：	平日10:00～17:00（土・日・祝、特別休業日を除く）
TEL	：	088-666-1523
ホームページ	：	http://support.justsystems.com/

Corel VideoStudio		
コーレル株式会社　インタービデオ　テクニカルサポート		
お問い合わせの前にホームページ（http://www.corel.jp/support/）をご確認ください。 当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。		
受付時間	：	月～金 10:00～12:00、13:30～17:30 （12:00～13:30、土日祝祭日、ならびに指定休業日を除く）
TEL	：	03-3544-8179
E-mail	：	メールでのお問い合わせは、以下のURLに掲載されている専用のメールフォームをご利用ください。 http://www.corel.jp/support/
ホームページ	：	http://www.corel.jp/

CyberLink MediaShow 6 for TOSHIBA		
サイバーリンクカスタマーサポート		
受付時間	：	10:00-13:00、14:00-17:00（土日祝日、休業日を除く）
TEL	：	0570-080-110（ナビダイヤル） 03-5205-7670 （PHS、一部電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合）
ホームページ	：	http://support.cyberlink.jp/
（ウェブフォームからのお問い合わせは、ユーザー登録が必要です。）		

DigiBook Browser for TOSHIBA		
デジブック☆オンライン		
受付時間	：	10:00～17:00（土日祝日除く）
TEL	：	03-6805-9240
FAX	：	03-5468-1250
E-mail	：	info@digibook.net
ホームページ	：	http://www.digibook.net/

ebi.BookReader4	
株式会社 イーブック イニシアティブ ジャパン eBookJapan サポートセンター	
http://www.ebookjapan.jp/ebj/support/index.asp?dealerid=107	
受付時間	： 10:00～18:00 (土日祝日除く)
E-mail	： support@ebookjapan.co.jp
ホームページ	： http://www.ebookjapan.jp/ebj/?dealerid=107

i-フィルター6.0（90日版）		
デジタルアーツ株式会社　サポートセンター		
受付時間	： 10:00～18:00 （デジタルアーツ指定休業日を除く）	
TEL	： 0570-00-1334	
E-mail	： p-support@daj.co.jp	
ホームページ	：【よくある質問】	http://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/
	【お問い合わせフォーム】	http://www.daj.jp/ask/

LoiLoScope2 30日体験版	
株式会社LoiLo	
● LoiLoScopeに関するお問い合わせ	
お問い合わせの前にFAQ（http://support.loilo.tv/loiloscope/jp）をご確認ください。	
受付時間	： 平日9:00～18:00（土日祝、特別休業日を除く）
Webからのお問い合わせ	
	： http://loilo.tv/jp/product/22
内容により回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。	

music.jp PLAY	
株式会社エムティーアイ　コンタクトセンター	
E-mail	： music.jp_player@cc.mti.co.jp

RZタグラー	
RDシリーズサポートダイヤル	
受付時間	： 365日　9:00～18:00
ナビダイヤル	： 0570-00-0233（通話料有料） （PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合があります。）
ホームページ	： http://apps.toshiba.co.jp/
メールでのお問い合わせ	： https://www.digitaldoors.jp/dvd/form.php

デジタル貸金庫	
東芝（デジタル貸金庫についてのお問い合わせ）	
ホームページ	： http://tosafebox.com/contact/index_j.htm

デジタル全国地図 いつも NAVI（90日版）	
ゼンリンデータコム　お客様相談室	
受付時間	： 10:00～17:00　月～金（祝日・指定休日は除く）
E-mail	： itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ	： http://www.zmap.net/contactus/index.html

ブックプレイスリーダー	
株式会社BookLive	
ブックプレイスのストアサイトをご確認ください。	
ホームページ	： http://toshibabookplace.booklive.jp/
メールによるお問い合わせ	： https://toshibabookplace.booklive.jp/index/contact/
FAQ	： http://toshibabookplace.booklive.jp/faq/index

筆ぐるめ	
富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター	
受付時間	： 9:30〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝祭日・休業日を除く） 11月1日から12月30日までは無休
TEL	： 0570-550-211（ナビダイヤル） （携帯電話・PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合があります。）
E-mail	： users@fsi.co.jp
ホームページ	： http://www.fudegurume.jp/

その他のアプリケーション

※本製品を購入後に追加したアプリケーションに関しては、製造元各社へお問い合わせください。

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号	： 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料） おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。 技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後で 1 をプッシュしてください。 技術相談窓口　受付時間：9:00〜19:00（年中無休）

[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、一部のIP電話および直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、サポートサイト（http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm）にてお知らせいたします。

お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、(株)東芝の個人情報保護方針のページ（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 パソコン本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

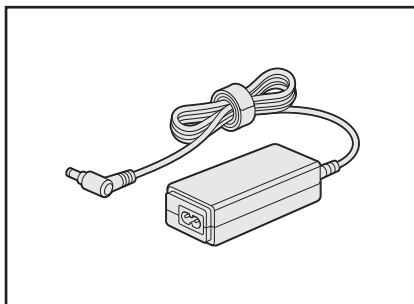
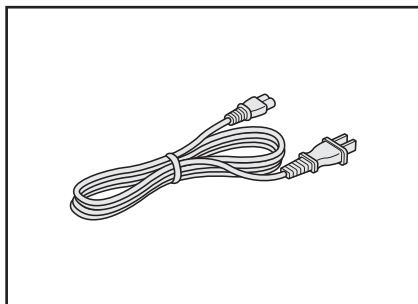
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。
  取り扱いにはご注意ください。

付録

タッチパッドの操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。

電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。

3 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線LANの無線アンテナは、障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、本や厚い紙の束などの障害物でディスプレイを覆わないようにしてください。
  また、無線LANアクセスポイントとパソコンとの間を金属板などで遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属製のケースなどで覆わないようにしてください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、「付録 3 無線LAN／Bluetoothについて」を確認してください。
- 本製品の無線LANを使用できる国／地域については、「dynabook.com」を確認してください。

無線LANの操作にあたって

- Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- アドホックネットワーク機能で、設定されているネットワーク名へのネットワーク接続が不可能になる場合があります。
  この場合、再度ネットワーク接続を可能にするには、同じネットワーク名で接続されていたコンピューターすべてに対して、新たに別のネットワーク名で設定を行う必要があります。

付録

4 ウイルスチェック・セキュリティ対策について

使用するにあたって

- 本製品に用意されている「ウイルスバスター」は90日間の使用期限があります。必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをご使用になる場合には、必ずウイルス定義ファイルの最新版を使用してください。
  ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルが必要です。
- すでにインストールしてあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトとは別のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているものをすべてアンインストールしてから行ってください。

参照 ウイルスバスターのセキュリティ機能について「ウイルスバスター」のヘルプ

5 「i-フィルター6.0」について

使用期限について

- 無料使用期間はご使用開始より90日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。

6 周辺機器について

パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。3章および『パソコンで見るマニュアル 活用編』を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ホットインサーションに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
  - ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

付録

7 バッテリーについて

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
  バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時計用バッテリーを使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーと時計用バッテリーを充電してください。

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。
  バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

社団法人　電子情報技術産業協会の「バッテリ関連Q&A」について
http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14

8 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

参照 リカバリーについて「4章 買ったときの状態に戻すには」

- SSDや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
  SSDや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

9 「東芝ファイルレスキュー」について

データを救助／復元するにあたって

- 本ソフトウェアは、SSD上のすべてのファイルの救助、復元を保証するものではありません。当社は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用によって生じたデータの損害についていっさいの責任を負わないものとします。
- SSDが破損している場合、またはSSD上のファイルが破損している場合は、救助、復元することができません。
- 「東芝ファイルレスキュー」は、OSが起動しないときに、SSD上のファイルを別の保存用記録メディアへ退避するためのものです。その他の用途では使用しないでください。
- データを救助するとき、データ保存用の記録メディアは、パソコンの電源を入れる前にセットしてください。電源を入れたあとにセットすると正しく認識されないことがあります。
- プログラムファイル、またはプログラム用のデータファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- 著作権保護、またはコピープロテクションによって保護されたファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- システム属性を持つファイル、および、暗号化されたファイルは救助できません。暗号化されたSSDからは、救助できません。これらの救助できないファイルは、救助対象を選択、または確認する一覧の中に表示されません。
- データを救助するときはすべてのユーザーのユーザーデータを一度に救助することができますが、データを復元するときは一回の復元実行によって一つのユーザーアカウント分のデータだけを復元します。復元したファイルは、復元処理を実行したユーザーアカウントの所有ファイルとなります。
  ファイルの所有者となるユーザーアカウントでサインインし、復元処理を実行してください。
- 復元実行中にスリープ／休止状態へ移行する操作を行わないでください。
- データ保存用の記録メディアとしてCD／DVDを使用するときは、データを確実に救助するために、新しい記録メディアを使用することをおすすめします。

2 技術基準適合について

『パソコンで見るマニュアル』にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、『パソコンで見るマニュアル』の記載もあわせてご確認ください。

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■電波障害自主規制について

参照 『パソコンで見るマニュアル 活用編 付録 4 技術基準適合について』

3 無線LAN／Bluetoothについて

＊Bluetooth機能については、Bluetooth機能搭載モデルのみ対象となります。
＊5GHzの無線LANについては、IEEE802.11aをサポートしているモデルのみ対象となります。

1 無線LANの概要

本製品には、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANが搭載されています。
本書では、搭載された無線LANの種類によって説明が異なる項目があります。
使用しているパソコンに搭載された無線LANの種類の確認については、次の説明を確認してください。

参照『パソコンで見るマニュアル 基本編 付録 1 - 2 ワイヤレス（無線）LAN』

■無線LANの仕様

無線周波数帯	IEEE802.11a, IEEE802.11n	5GHz（5150-5350MHz、および 5470-5725MHz）
	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n	2.4GHz（2400-2483MHz）
変調方式	IEEE802.11a, IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
	IEEE802.11n	直交周波数分割多重方式（OFDM方式）

2 無線LANのサポートする周波数帯域

無線LANがサポートする5GHz帯および2.4GHz帯のチャネルは、国／地域で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線IEEE802.11 チャネルセット」参照）。

■無線IEEE802.11 チャネルセット

● 5GHz帯：5150-5350MHz および、5470-5725MHz
（IEEE802.11a、IEEE802.11nの場合）

	チャネルID	周波数
W52	36	5180
	40	5200
	44	5220
	48	5240
W53	52	5260
	56	5280
	60	5300
	64	5320
W56	100	5500
	104	5520
	108	5540
	112	5560
	116	5580
	120	5600
	124	5620
	128	5640
	132	5660
	136	5680
	140	5700

アクセスポイント側のチャネル（W52/W53/W56）に合わせて、そのチャネルに自動的に設定されます。

メモ

- W52、W53は電波法令により屋外で使用することはできません。
- IEEE802.11aおよびIEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信でのアクセスポイントへの接続は、Ch1～Ch13，Ch36，Ch40，Ch44，Ch48，Ch52，Ch56，Ch60，Ch64，Ch100，Ch104，Ch108，Ch112，Ch116，Ch120，Ch124，Ch128，Ch132，Ch136，Ch140で使用できます。

付録

- 2.4GHz帯：2400-2483MHz（IEEE802.11b/g、IEEE802.11nの場合）

チャネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457＊1
11	2462
12	2467
13	2472

＊1 購入時に、アドホックモード接続時に使用するチャネルとして設定されているチャネルです。

メモ

- IEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch13で使用できます。

3 Bluetoothの仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth Specification Ver.4.0
	無線周波数帯	2.4GHz（2402〜2480MHz）
	変調方式	周波数ホッピング方式　２値FSK

4 無線特性

無線LANおよびBluetoothの無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。
多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。国／地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない5GHzおよび2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。
無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

5 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーをパソコン本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

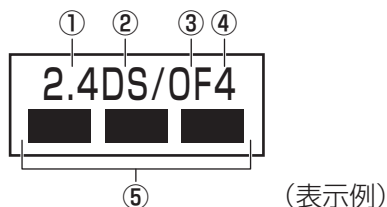
■東芝PCあんしんサポート

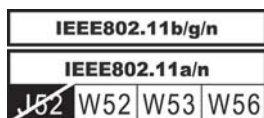
東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

付録

❏ 無線LAN

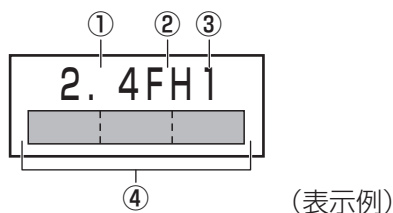
■ 現品表示

本製品または無線LANモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示す。
③ OF　：変調方式がOFDM方式であることを示す。
④ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
⑤ ■ ■ ■：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■ JEITAロゴ表記について

5GHz帯無線LANは、W52/W53/W56チャネルをサポートしています。

❏ Bluetooth

■ 現品表示

本製品またはBluetoothモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示す。
③ 1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
④ ▭▭▭：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

6 機器認証表示について

本製品には、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、認証を受けた無線設備を搭載しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

■Intel 6235 a/b/g/nモジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名　：　6235ANHMW
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　：　D111083003

■Intel 2230 b/g/nモジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名　：　2230BNHMW
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　：　D111287003

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

7 お知らせ

無線製品の相互運用性

■無線LAN

本製品に搭載されている無線LANは、Direct Sequence Spread Spectrum（DSSS）／Orthogonal Frequency Division Multiplexing（OFDM）無線技術を使用する無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers（米国電気電子技術者協会）策定のIEEE802.11 Standard on Wireless LANs（Revision a/b/g/n）（無線LAN標準規格（版数 a/b/g/n））

■Bluetooth

本製品に搭載されているBluetoothは、Frequency Hopping Spread Spectrum（FHSS）無線技術を使用するBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group策定のBluetooth Specification Ver.4.0
- Bluetooth Special Interest Groupの定義するBluetooth ワイヤレステクノロジーのLogo認証

付録

メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

(1) Bluetooth Version1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
(2) 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
(3) Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

健康への影響

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。
本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANおよびBluetoothの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LANおよびBluetoothを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線通信機能をONにする前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品に搭載されている無線LANのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

付録

8 使用できる国／地域について

海外で無線通信機能を使用する場合は、使用される国／地域の無線規格を取得している必要があります。
無線規格を取得している国／地域に関する情報は、「dynabook.com」をご覧ください。

参照 「dynabook.com」について『東芝PCサポートのご案内』

また、無線規格を取得していない国／地域では、パソコン本体の無線通信機能をOFFにしてください。

参照 無線通信機能のOFFについて「2章 1 - 1 無線LANで接続する」

4 ワイヤレスマウスについて

＊ワイヤレスマウス付属モデルのみ

1 仕様について

ワイヤレスマウスの仕様は次のとおりです。

無線周波数帯	2.4GHz
センサー方式	光学式またはレーザー式＊[1]
通信距離	見通し約5m（最大）＊[2]
使用電池	単3形乾電池　1本
外形寸法	約60（幅）×100（奥行）×38（高さ）mm（突起部を除く）
質量	約64g（乾電池を除く）

＊1 モデルによって、センサー方式が異なります。

＊2 ワイヤレスマウスの通信距離／速度は、設置場所、設置方向、使用環境などにより、変化します。

付録

2 無線表記について

1 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、付属のワイヤレスマウスを第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

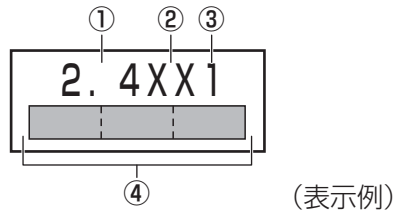
■ステッカー

無線LANのステッカーについての記載を参照してください。

参照 「付録 3 - 5 本製品を日本でお使いの場合のご注意」

■現品表示

本製品には、次に示す現品表示が記載されています。

（表示例）

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② XX　：変調方式がその他の方式（GFSK）であることを示す。
③ 1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
④ ▭　：2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

2 機器認証表示について

付属のワイヤレスマウス（マウスレシーバー含む）は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、技術基準適合証明を受けております。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 付属のワイヤレスマウス（マウスレシーバー含む）を分解／改造すること

無線設備名 ： M-R0013
TELEFICATION B.V.社
認証番号　 ： 201WW09215196

無線設備名 ： M-R0032-O
TELEFICATION B.V.社
認証番号　 ： 201WW11215371

無線設備名 ： C-U0007
TELEFICATION B.V.社
認証番号　 ： 201WW10215003

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

リカバリーチェックシート

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）前に、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「4章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

1 パソコンを初期状態に戻す前に確認すること

□ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□「5章 困ったときは」をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探してみる
□ システムの復元で以前の状態に復元する

2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

□ **①準備するもの**
　□『dynabookガイド』（本書）
　□ このリカバリーチェックシートをコピーしたもの
　□ リカバリーメディア（作成したリカバリーメディアからリカバリーする場合）

□ **②必要なデータのバックアップをとる**
　バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリーをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。
　□［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
　□ 購入後にデスクトップに保存したデータ
　□「Internet Explorer」の［お気に入り］のデータ
　□ メール送受信データ　□メールアドレス帳
　□ プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
　□ 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
　□ 購入後に作成したフォルダーやファイル

参照 バックアップについて『パソコンで見るマニュアル 基本編 1章 6 バックアップをとる』

□ **③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する**
　購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリー後にインストールする必要があります。リカバリーした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。

□ **④各種設定を確認する**

□ **⑤無線通信機能がONであるか確認する**

□ **⑥周辺機器をすべて取りはずす**

3 パソコンを初期状態に戻す流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ ①リカバリー
□ ②周辺機器（マウス・プリンターなど）を取り付けて、設定する
□ ③インターネットやメールの設定
□ ④ウイルスチェックソフトの設定と更新
□ ⑤Windows Update
□ ⑥アプリケーションのインストール
□ ⑦データの復元

東芝PC総合情報サイト

http://dynabook.com/

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先は、
本書「5章 4 お問い合わせ先」でご案内しております。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。
ガイダンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHS、一部のIP電話および直収回線など回線契約によっては
つながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）
にお問い合わせください。
ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。

技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

インターネットもご利用ください。

http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

お問い合わせの詳細は、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。
お客様からいただく個人情報（お名前や連絡先など）は、ご相談の対応、修理対応、サービス向上施策のために使用させていただきます。利用目的の範囲内で、お客様の個人情報を当社グループ会社や委託業者が使用することがございます。お客様は、お客様ご本人の個人情報について、開示、訂正、削除をご請求いただけます。その際は、東芝PCあんしんサポートまでご連絡ください。
お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、(株)東芝の個人情報保護方針のページ（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。
16歳未満のお客様は、保護者のかたの同意を得た上でお問い合わせください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
　東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

V832/＊＊Hシリーズ、V832/W＊＊Hシリーズ

dynabook KIRA dynabookガイド

平成25年2月27日　第1版発行　GX1C0010Y210

発 行　株式会社 東芝 デジタルプロダクツ&サービス社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

ローマ字／記号入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	ゐ		ゑ	を
WA	WI*		WE*	WO
ん				
NN				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA*	VI*	VU	VE*	VO*

*：英字を入力し、SPACEキーを押してください。

うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
WHA	WHI		WHE	WHO
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ	くぃ		くぇ	くぉ
QA	QI		QE	QO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JYA JA	JYI	JYU JU	JYE JE	JYO JO
すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
TYA CHA	TYI	TYU CHU	TYE CHE	TYO CHO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
FWA	FWI	FWU	FWE	FWO
FA	FI		FE	FO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

■ 記号の入力

記号の中には読みを入力してSPACEキーを押すと変換できるものもあります。

〜	※	々〃	①②ⅠⅡ	♪
から	こめ	おなじ	いち、に…	おんぷ
○◎●	↑↓←→	ヶ	〆	φ
まる	やじるし	け	しめ	ふぁい
□■◇	【】《》『』	×	㎡	
しかく	かっこ	かける	へいほうめーとる	
☆★	〒	÷	(^.^) など各種顔文字	
ほし	ゆうびん	わる	かお	

● 小さい文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA	LI	LU	LE	LO
XA	XI	XU	XE	XO
っ	ゃ	ゅ	ょ	
LTU	LYA	LYU	LYO	
XTU	XYA	XYU	XYO	

株式会社 東芝 デジタルプロダクツ&サービス社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

PRINTED WITH SOY INK™ この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。

GX1C0010Y210

Printed in China